令和7年度

事　業　報　告　書

社会福祉法人 松阪市社会福祉協議会

◆◆◆◆◆◆◆◆ 目次 ◆◆◆◆◆◆◆◆

P 1　　第1章　はじめに

P 1　　第２章　法人経営部門
　　１　部門総括
　　２　事業シート
（1）法人の運営
（2）福祉関係施設の運営管理
　　①指定管理施設の適正な運営及び利用の促進
　　②社協施設の適正な運営及び利用の促進
　　③賃貸施設の運営及び利用の促進
（3）社会福祉大会事業

P 8　　第3章　福祉のまちづくり部門
　　１　部門総括
　　２　福祉のまちづくり課事業シート
（1）地域福祉活動計画事業の推進
（2）赤い羽根共同募金運動事業・配分事業の推進
（3）地域福祉受託運営事業
（4）ボランティアセンター事業
（5）重層的支援体制整備事業
（6）猫一時預かり事業
（7）地域福祉活動ステップアップ支援事業
P 16　　３　地域生活支援課事業シート
（1）総合相談事業
（2）資金の貸付事業
（3）日常生活自立支援事業
（4）地域後見サポート事業
（5）育英基金事業
（6）その他福祉受託事業・在宅福祉受託事業

P 30　　第4章　在宅福祉サービス部門
　　１　部門総括
　　２　事業シート
（1）在宅福祉サービス事業
（2）高齢者福祉サービス
（3）障がい者福祉サービス

P 38　　第5章　附属資料
（1）法人経営部門
（2）福祉のまちづくり部門
（3）在宅福祉サービス部門

第1章　はじめに

令和7年度は、任期満了による役員等の改選が行われ、新たな経営体制のもと法人の運営や事業が行われました。また、第4期松阪市地域福祉活動計画と第Ⅴ期経営計画の中間年度となることから、これまでの取り組みと今後の方向性について中間評価を行いました。両計画とも概ね順調に進捗していますが、一部で目標値を下回っている項目もあり、計画達成に向けて役職員がより一層取り組んでいく必要があります。

地域福祉においては、「人づくり」に繋がるよう新しい助成金をスタートし、継続して取り組んできた市内社会福祉法人による「公益的な取り組み」については、連絡会設立に向けた準備会を立ち上げることができました。また、令和6年度から始まったコメの品薄状態と価格高騰は令和7年度も継続しましたが、松阪市やフードバンク愛知と連携して政府備蓄米の配布を行うなど、社会情勢に応じて柔軟に対応しました。

災害対応・対策では、7月にロシアのカムチャツカ半島沖を震源とする地震に関連して初めてBCPを発動したほか、大規模災害を想定した訓練実施や災害時における事業所運営基準の見直しなど災害に対する備えに取り組みました。

経営面においては、依然厳しい収支状況が続いており、各事業で経費の削減や介護保険や障がい福祉サービスの事業所では事業内容や事業形態の見直しなど施設・事業運営の見直しを進めました。また、持続可能な運営と経営基盤の強化のために設置した「松阪市社会福祉協議会のあり方検討委員会」での協議を進め中間報告を取りまとめました。

第2章　法人経営部門

1 部門総括

法人の経営を担う部門として、他の部門・支所と連携して法人全体の運営に努め、必要な人員・人材の確保、施設管理や防災対策、財務状況の改善に努めました。

人員・人材の確保では、カスタマーハラスメント対策の整備や正職員登用ルールを見直したほか、「松阪市社会福祉協議会のあり方検討委員会」と連携して人材育成方針を策定しました。

施設管理や防災対策では、7月には、ロシアのカムチャツカ半島沖を震源とする地震に関連して三雲支所から嬉野支所への避難を実施しました。幸いにも津波の被害には及びませんでしたが、避難対応等に課題も確認されたため、今後の施設・事業マネジメントで検討していく必要があります。また、安否確認システムを導入して防災訓練で運用するなど訓練と見直しを継続していきます。

財務面では、物価高騰や人件費の上昇など経営環境は引き続き厳しく4期連続の赤字決算となりました。事業所の運営方法や事業形態見直し、経費削減等の自助努力により収支の改善に努めていますが、法人全体の収支を改善するまでには至りませんでした。また、地域福祉などの公益・非営利部門については、松阪市からの支援・協力が必要であり、所轄部署と協議を継続してきました。

2 事業シート

（１）法人の運営　（単位:円）

事業名(担当部署)	法人運営事業 (本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅰ Ⅱ Ⅲ				
経営計画との関連	４ ５				
予算額	671,800,000	執行済額	656,928,988	執行率	97.8%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇「松阪市社会福祉協議会のあり方検討委員会」を立ち上げ、法人の経営基盤の強化に向けて必要な議論を深めた

〇第Ⅴ期経営計画の中間評価・検証を行い、理事会・評議員会へ報告した

〇松阪社協が求める人材、役職別の職務を明示した人材育成方針を策定した

〇事業継続計画（BCP）に沿った対応と内容の見直しを行い、松阪市の防災訓練に併せ職員向けの災害ボランティアセンター研修と机上訓練を実施した

〇BCPに基づく必要物品について調査を実施し、段階的に整備していくこととした

◆活動実績

〇役員会等の開催状況　※内容の詳細は P38に掲載
　評議員会　3回　理事会　6回（うち決議の省略2回）　監事監査　2回
　評議員選任・解任委員会　1回

〇あり方検討委員会の開催状況
　あり方検討委員会　6回

〇職員確保への取組み
　ア　福祉の就職フェアに出展　2回（障がい者就職フェア含む）
　イ 令和7年度採用職員
　　正規 3名　契約 14名　非常勤 22名（生活支援員、登録ヘルパー含む）
　ウ　令和8年度職員採用試験実施（内部登用）　3名を採用決定

〇人材育成への取組み
　ア 地域福祉の研修（報告）
　イ 福祉職員キャリアパス対応生涯研修課程研修への参加（三重県社協主催）
　ウ　新人職員への研修の実施（内部・外部研修）

〇安定した経営に向けた取組み
　ア 地域福祉財源確保のため、社協会費への協力を住民、関係団体等に依頼
　　（8,875,920 円）
　イ 内部監査の実施　7月～8月　各課・支所
　ウ　基金の計画的な取り崩しを行い、運用資金に充当

〇職員の健康増進に向けた取組み
　ア ストレスチェックの実施 正規　111名　契約　64名

（2）福祉関係施設の運営管理

① 指定管理施設の適正な運営及び利用の促進　（単位:円）

事業名(担当部署)	ハートフルみくも保健福祉センター事業 (三雲支所　地域福祉係)
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2
経営計画との関連	4-(1)

予算額	16,485,000	執行済額	15,782,527	執行率	95.7%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇指定管理事業

ア　保守点検及び12条点検の実施

イ　施設の老朽化及び設備故障に伴う修繕

ウ　熱中症警戒アラート発令時における貸館利用者への周知

エ　カムチャツカ半島沖を震源とする地震に伴う津波注意報発令による臨時休館

〇自主事業、施設設備の活用

ア　地域住民の出会いや交流、新たな楽しみの発見につながる交流会や教室を開催

イ　福祉活動団体との連携促進及び団体活動支援を目的とした集いを開催

エ　ベビー用品リユース事業を通じ、「出会い・つながり・支え合い」の仕組みを醸成

〇防災対策

ア　重度利用者の垂直避難を可能とする機器の導入

イ　垂直避難訓練の実施

◆活動実績

ア　はぁとふる喫茶（3回/年）

イ　みんなであそぼフェスタ2025

ウ　ハートフルクリスマス

エ　オトナの趣味シリーズ～定年後の新しい仲間と楽しみを見つけませんか？～

オ　パパ・ママ交流会～ベビーサインを体験してみよう！～

カ　みくも高齢者のつどい

（単位:円）

事業名（担当部署）		ハートフルみくもスポーツ文化センター事業 （三雲支所　地域福祉係）			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-2			
経営計画との関連		4-（1）			
予算額	29,427,000	執行済額	29,411,719	執行率	99.9%

※予算額に前年度繰越金含む

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇指定管理事業

ア　保守点検の実施

イ　施設の老朽化及び設備故障に伴う修繕

ウ　熱中症警戒アラート発令時における貸館利用者への周知

エ　カムチャツカ半島沖を震源とする地震に伴う津波注意報発令による臨時休館

オ　アスレチックジムにニーズの高い機種を増設し、会員の入会促進

カ　Free Wi-Fi を増設し、会議等の貸館利用促進

〇自主事業

ア　諸団体と共催で事業を実施し、赤い羽根共同募金の啓発やシェイクアウト訓練実施による災害への意識の醸成

イ　七夕笹かざりに参加し、芝生広場の活用及び障がい事業所の地域貢献活動

ウ　パターゴルフを通じた、多世代交流及びパターゴルフ場の利用促進

エ　介護予防教室を通じた、閉じこもり防止及びフレイル予防

〇防災対策
ア 南海トラフ地震を想定した避難訓練の実施、垂直避難訓練の協力

◆活動実績

ア 七夕笹かざり
イ (共催)親子租税教室「税ってなぁ～に」
ウ パターゴルフ交流会
エ みんなでスローエアロビック教室

(単位:円)

事業名(担当部署)		飯南ふれあいセンター事業 (飯南支所 地域福祉係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ			
経営計画との関連		4-(1)			
予算額	8,573,000	執行済額	7,944,390	執行率	92.7%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇指定管理事業
ア 保守点検、施設整備維持管理、貸館
イ ボランティアの育成及び活用の推進
いー南カフェとまるごと相談室、第三包括、ボランティア団体や地域おこし協力隊と の連携
ウ 介護予防、高齢者及び障害者の生きがいと社会参加の促進
ふくしまつり、スノードームづくり(障がい、子育て世代、民生員の交流)
エ 防災・避難訓練
年2回、地震発生後の火災を想定した訓練にて、職員配置を変更して開催

〇自主事業
ア 地域交流会事業(地域の福祉拠点として地域福祉の推進)
ふくしまつり、こども園との交流会、クラフトワークショップ
イ 子ども学習支援事業
ウ 居場所づくり事業(関係機関と連携し、充実した「いー南カフェ(居場所)」の展開)
健康太極拳、ポーセラーツ体験、お母さんのためのヨガ教室

〇災害対応としての BCP に沿った必要物品の準備や訓練等の危機管理体制整備
災害時携帯トイレの備蓄

◆活動実績

〇いー南カフェ 27回(576名)
〇よりそいカフェ2回(27名)
〇ポーセラーツ体験(11名)
〇お母さんのためのヨガ教室3回(84名)
〇クラフトワークショップ(15名)

(単位:円)

事業名(担当部署)	飯高高齢者生活福祉センター事業 (飯高支所 地域福祉係)
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ

経営計画との関連		4-(1)			
予算額	14,992,000	執行済額	14,782,179	執行率	98.6%

【重点実施項目における取り組み・成果】

〇指定管理事業

ア 施設、設備修繕 7か所

（屋上防水再工事5月、浄化槽応急修繕6月、浴槽防水・事務所・相談室天井及び壁貼替工事9月、白アリ駆除および改修３月、 非常灯 LED 化３月）

イ 防災・避難訓練実施

年2回訓練を実施

〇自主事業

ア 学習支援と共同募金事業との協働による子ども食堂・地域食堂を実施。

子どもから高齢者、障がい者まで幅広い世代の交流ができた。

イ 学習支援事業の実施

ウ クラフト教室定期開催し、参加者の作品を文化祭に展示することができた。

〇 居住事業

ア 1名養護施設入所に向けた支援

イ 入居者体調急変時の対応

ウ 2名新規入所

〇災害対応としての BCP に沿った必要物品の準備や訓練等の危機管理体制整備

ア 松阪市と連携し備蓄品の確認

イ ポータブル電源を寄贈いただき、使い方講習を実施

◆活動実績

〇 みんなの居場所づくり事業

ア クラフト教室（月 2 回開催） 163 名

イ 夏休み学習支援 7/31 児童 20 名

ウ 子ども食堂 7/31 児童 20 名 父兄 3 名 関係者 13 名

エ バルーンアート・オリジナルクッキー作り 7/31 児童 18 名

（地域おこし協力隊）

オ 冬休み学習支援 12/25 児童 20 名

カ オリジナルトートバック作り（地域おこし協力隊）・おやつ工房（高齢者生きがいづくり）12/25 児童 20 名

キ 地域食堂 12/25 児童 20 名 参加者 80 名

② 社協施設の適正な運営及び利用の促進 （単位:円）

事業名（担当部署）		松阪支所 （松阪支所）			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-2-(2)			
経営計画との関連		4-(1)			
予算額	―	執行済額	―	執行率	―

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇既存の福祉まるごと相談室に加えて今年度新設された福祉まるごと相談室との協働による地域活動の後方支援

〇多職種連携にてコミュニティコーピングを実施

〇寄附金を活用した防災対策物品の整備

◆活動実績

〇ふらっとカフェ（みんなの居場所づくり事業）の開催（月2回）

〇各種学校の福祉資格取得に向けての勉強会に関する会場提供
〇地域団体の行事開催に関する会場提供

（単位:円）

事業名(担当部署)		社会福祉センター管理補助事業 (嬉野支所)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-2-(1)			
経営計画との関連		4-(1)			
予算額	11,397,000	執行済額	10,947,203	執行率	96.1%

【重点実施項目への取り組み・成果】
〇幅広い世代に利用される仕組みづくり
ア 地区福祉会との協働により、多世代が交流できる事業を実施
イ 松阪さんまくらぶと施設利用団体(身体障害者福祉協会嬉野支部、囲碁クラブ)との交流
ウ 就労準備支援事業、活動受け入れ、参加支援の場としての機能
〇誰もが利用しやすい施設づくり
ア トイレの洋式化、 ベビーチェア・ベビーベッドの設置
イ 会議室家具(地域企業からの寄附)の改善、家具配置の見直し貸館機能充実
ウ 社会福祉センターに関する規程類の整備
〇BCP に基づいた災害対策
ア 防災対策物品の整備
イ 事業所 BCP に基づいた防災訓練、HUG 訓練、防災対策研修(ICT 活用)
ウ カムチャツカ半島沖を震源とする地震(津波注意報)による三雲支所福祉事業の避難受け入れ
エ 施設内防災体制の見直し(備蓄倉庫の整備、暑さ対策、避難所機能改善対策)
◆活動実績
〇幅広い世代に利用される仕組みづくり
ア ★のびのび BABY・KIDS ひろば★
イ みんなでイキイキ体操！
ウ うれたまごカフェ　第一水曜日
エ えがおをつなぐ つなげる こどもふくリユース
（延数）558 世帯 ボランティア 63 名　子どもボランティア 52 名
〇「ひろがる・つながるフードドライブ連携協定」による寄附品の配布(フード バンク愛知）、 3R ゴミ分別の啓発

③ 賃貸施設の運営及び利用の促進　（単位:円）

事業名(担当部署)		多世代交流センターいいなん事業 (飯南支所)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ			
経営計画との関連		4-(1)			
予算額	6,091,000	執行済額	5,916,008	執行率	97.1%

【重点実施項目への取り組み・成果】
〇設備の保守点検、施設整備維持管理

漏水修理、機械室内給湯菅漏洩修繕
〇貸館スペースの案内、自主事業の案内チラシを各戸配布や回覧による周知
地域商店の出店やいー南カフェの予定チラシを毎月作成・回覧し、地域住民への周知を図った
〇個室である特性を活かし、多世代が気軽に利用できるレンタルスペースの提供
ボランティアの練習、事業所職員研修での活用
〇食堂や2階スペースは、研修会の開催や自主事業に活用
健康太極拳、いー南カフェ、地域商店の出店、夏休み勉強会、第三包括介護予防教室など

◆活動実績
〇健康太極拳　23回(240名)
〇いー南カフェ　22 回(363名)
〇夏休み勉強会(30名)

（3）社会福祉大会事業　（単位：円）

事業名(担当部署)		社会福祉大会事業 (総務課)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-1-(1)			
経営計画との関連		1-(1)			
予算額	1,448,000	執行済額	1,448,000	執行率	100%

【重点実施項目への取り組み・成果】
〇松阪市の社会福祉に貢献した個人及び団体を顕彰するとともに、ボランティアや赤い羽根共同募金の周知・啓発等を目的として開催　来場者　約　500 名
ア　障がい児(者)施設による自主製品オリジナルショップ　10事業所
イ　ボランティア団体等による啓発　ボランティア団体:16団体、企業:2社
ウ　地域のふれあいコーナー(地域の特産品の販売、軽食の販売、出張カフェ等)
松阪社協:5支所、1事業所、キッチンカー2 店舗
〇社会福祉功労者(団体)の顕彰及び顕彰対象の見直しを実施
◆活動実績

開催日時	令和7年12月7日(日)午前10時00分～午後 12 時 30 分	
テーマ	「地域の絆と支援の輪で　いきいきと自分らしく暮らせるまち松阪」	
主催	松阪市、松阪市社会福祉協議会、松阪市共同募金委員会	
場所	嬉野ふるさと会館	
プログラム	オープニング	キッズダンス One＆ダンス One. (ヒップホップダンス)
	表彰式	社会福祉功労者及び団体の顕彰　51名49団体 (顕彰団体:松阪市・松阪市社会福祉協議会・ 松阪市共同募金委員会)
	ステージイベント	ザ・レイクス・ジャズ・オーケストラ(ジャズ演奏)

第3章　福祉のまちづくり部門

1 部門総括

令和7年度は、第4期地域福祉計画・地域福祉活動計画の折り返し年度として、中間評価を実施し、後半に向けた強化が求められた一年でした。地域ヒアリングや関係機関アンケートを踏まえ、計画の進捗を整理しました。

「人・場・ネットワーク」づくりでは、市内 13 か所に福祉まるごと相談室が整備され、包括的支援体制の基盤が確立されました。重層的支援体制整備について松阪市と連携し、今後も協議を重ねていきます。

新規事業の「要支援児童等見守り強化事業」（まるっとサポート便）では、企業からの寄附協力が広がり、食料品配送を通じて保護者の相談につながるなど、子育て世代の孤立防止に一定の効果が見られました。

地域福祉活動は住民主体の取り組みが広がり、ネットワークづくりも進展した一方で、担い手不足や高齢化による活動継続の課題が顕在化しました。本会の強みである地域に近い立場で、住民と行政・専門機関をつなぎ、福祉のまちづくりを今後も推進します。

地域生活支援課の各事業では、法人内の連携によって業務の土台を固め、職員の専門性を高めながら、地域の一人ひとりに寄り添う支援の質を底上げしていけるよう取り組みました。

単独のセクションでは解決できない複雑な課題（ひきこもり、困窮、権利擁護など）への対応力が求められるなか、福祉まるごと相談室やコミュニティソーシャルワーカー、民生委員・児童委員、松阪市の各機関といった、地域単位の多職種・関係機関とのネットワークを強化し、アウトリーチや丁寧な個別支援を今後も継続・発展させます。また、増大する事務負担の解消に向けて、業務システムの導入による事務効率化を図り、職員の育成（資質向上）や待機者の解消、より質の高い相談対応に向けて今後も取り組みを進めます。

福祉まるごと相談室では「出向く支援」と「地域一体型」の基盤づくりに向け、アウトリーチと周知の強化を図りました。今後も地域の出張相談や催しへの積極的な参加により、未開拓地域や潜在的な相談者への認知度を高め、地域全体で支え合う仕組みづくりや、制度の狭間にいる人々が、段階的に社会参加できるような「居場所（サロン）」を、地域資源と協働して開発・運営します。

2 福祉のまちづくり課事業シート

（1）地域福祉活動計画事業の推進　　（単位：円）

事業名（担当部署）		地域福祉活動計画事業 （福祉のまちづくり課　地域福祉係）			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ			
経営計画との関連		1-(1)(2)			
予算額	14,293,000	執行済額	14,139,787	執行率	98.9%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇地域診断（地域アセスメント）から住民を主体とした地域のしくみづくりの支援

ア　地域支援計画の様式、報告方法、次年度計画の立案時期の変更

地域支援計画の様式や報告方法、計画立案時期を見直し、PDCA を一体的に確認できる仕組みに改善したことで、評価と次年度計画が連動し、人事異動があっても継続的な地域支援が可能になった。

イ　記録システムの導入検討と打合せ
煩雑化している地域担当・コミュニティソーシャルワーカーとの記録システムを令和８年度の導入に向けて業者と打ち合わせを行った

ウ　地域担当業務の可視化・平準化
各支所の民生委員事務支援の実態を整理し、事務委託契約書を見直した結果、支援内容のばらつきが可視化され、共通項目として整理することで支援の平準化と業務の明確化につながった

エ　人づくり
ア）担い手の確保、生活支援サービス開始に向けた協議やニーズ調査（松阪・嬉野・三雲）
イ）「夢をつかめ！高校生世代・大学生世代チャレンジ～これからの君へ～」助成金新設。若い力を地域につなげるしくみづくりと次年度の実施に向け要項を見直し

オ　場づくり　※詳細は P9（共募）、P14（重層）に記載
ア）企業やボランティア団体等と連携した、拠点施設や集会所での居場所づくり
イ）既存団体同士のつなぎ支援を行い、多世代交流の場づくりの支援

カ　ネットワークづくり
ア）松阪市・フードバンク愛知との三者協定に基づき政府備蓄米をひとり親家庭に配布し、実施したアンケートから孤独・孤立の課題や参加しやすいイベントのニーズが把握できた
イ）企業のフードドライブ事業と子どもの居場所づくり団体のつなぎ支援
ファミマフードドライブ事業と食料提供を必要とする子どもの居場所づくり団体をつないだ。さらに説明会に合わせて交流会を実施し、運営の工夫や課題を共有する場となった

〇第4期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の推進
ア　第4期松阪市地域福祉計画・地域福祉活動計画の中間評価
ア）中間評価を実施し、地域担当者を通じ内容を各住民自治協議会へ共有するとともに、職員研修会を開催して職員にも周知した

〇重層的支援体制整備事業推進　※詳細は P14（重層）、P15（ステップアップ）に記載
ア　松阪市と重層体制推進コア会議で方向性を確認し、福祉まるごと相談室の全域開設に伴い、地域担当者の担当地区を整理した
イ　民生委員サポート事業に必要な緊急時食糧について松阪市と協議し、社協の寄附で物品を確保した
ウ　福祉まるごと相談室と地域担当者の連携強化のため松阪市と研修会開催
ア）コミュニティコーピング（人と地域資源をつなげることで社会的孤立を解消する協力型ゲーム）研修会
イ）地域づくり研修会

（2）赤い羽根共同募金運動事業・配分事業の推進　（単位：円）

事業名（担当部署）	福祉のまちづくり事業 （本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所）				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ				
経営計画との関連	1-(1)				
予算額	6,866,000	執行済額	6,919,350	執行率	100.8%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇情報の発信・共同募金の周知
ア　配分金事業
地域福祉の理解促進のため、情報発信や共同募金の啓発資材を使った周知を行い、募金実績や使途をまとめた報告チラシを作成・配布した
〇みんなの居場所づくり
ア　各支所を拠点とした居場所づくり
定期開催で居場所として定着し、参加者が担い手となる支え合いの場が生まれ、多世代が集う場も実現した
〇あったかごはんプロジェクト
ア　歳末の生活困窮者支援
歳末たすけあい募金や各種寄附を活用して食料品等を提供し、当日の運営には企業や社会福祉法人が参加するなど、多様な主体が連携した取り組みとなった
〇みんなの居場所づくり
ア　住民主体の居場所づくりを目的に、「いー南カフェ」の次年度計画を検討した
イ　講師と地域サロンのつながりはできたが、活動を地域に広げるための働きかけが今後必要である（ふくしわくわく学び隊）
◆活動実績
ア　あったかごはんプロジェクト
令和 7 年 12 月 19 日、266 世帯・約 530 名へ食料品を配付
イ　みんなの居場所づくり
ふらっとカフェ、ふくしわくわく学び隊、みんなの防災講座、子どもの居場所づくり事業（おせち料理づくり）、幸せのリサイクルプロジェクト（松阪）
うれたまごカフェ、お茶とお菓子のおもてなし、shop こはま（嬉野）
オトナの趣味シリーズ「盆栽教室」、パパ・ママ交流会、みくも高齢者のつどい（三雲）
いー南カフェ、ふくしまつり、健康太極拳、夏休みべんきょう会、こども防災訓練（飯南）
ぽぽ café、学習会とたんぽぽ子ども食堂、クラフト教室（飯高）
ウ　関係機関と場づくりにむけた協議
男性も参加しやすい居場所、子どもの居場所づくり団体、地元商店協同のマルシェの企画（三雲）

（単位：円）

事業名（担当部署）		地域助成事業 （本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所）			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ			
経営計画との関連		1-(1)			
予算額	18,875,000	執行済額	18,821,650	執行率	99.7%

【重点実施項目への取り組み・成果】
〇小地域単位の福祉活動支援
ア　地域福祉活動推進助成、地域づくり（地域の絆）助成
地域福祉の推進を目的に、小地域ごとの福祉活動を支援した
〇各団体の活動支援
ア　市民活動助成、福祉活動助成、子どもの居場所づくり助成
ア）助成団体へコミュニティソーシャルワーカーや地域担当を周知したことで、団体の活動現場に相談窓口が設置されるようになった

イ)子どもの居場所づくり団体向けのファミマフードドライブ説明会で交流の場を設けたことで、参加団体同士のつながりが生まれ、支援の広がりにつながった

○小中学校における地域福祉教育の推進

ア 地域福祉教育推進助成

共同募金の活用を促すため校長会で助成金を説明し、その結果、前年度より申請校が 7 校増加した

○自治会単位や小地域単位を対象とした団体の活動支援

ア 助成金申請支援

ア)子ども会が解散した地区に対して、子ども会の役割を引き継ぐ住民自治協議会へ助成金の案内をした

◆活動実績

○地域福祉活動推進助成の申請 40 団体【助成額 2,130,000 円】
○地域づくり(地域の絆)助成の申請 34 団体【助成額 4,028,969 円】
○市民活動助成の申請 7 団体(新規3団体)【助成額 600,000 円】
○福祉活動助成の申請 16 団体【助成額 1,108,000 円】
○子どもの居場所づくり助成の申請 15 団体(新規 6 団体)
【助成額 1,340,900 円】
○地域福祉教育推進助成の申請 37 団体【助成額 1,100, 000 円】
○歳末たすけあい地域福祉活動推進助成の申請 34 団体【助成額 1,795,000 円】
○ふれあいいきいきサロン(宅老所)活動支援助成の申請 72 団体
【助成額 1,363,800 円】
○子ども行事助成の申請 153 団体 【助成額 2,845,152 円】
○子育て支援行事助成の申請 27 団体 【助成額 535,409 円】
○障がい者施設行事助成の申請 14 団体 【助成額 371,000 円】

(3) 地域福祉受託運営事業 (単位:円)

事業名(担当部署)		高齢者ボランティアポイント事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-1-(2)			
経営計画との関連		1-(1)			
予算額	3,600,000	執行済額	3,099,556	執行率	86.1%

【重点実施項目における取り組み・成果】

○オリエンテーション

説明動画を作成してオリエンテーションを実施。職員負担を軽減しつつ申請からマッチングまでを円滑に進めた

○ささえさん活動支援

ア 研修交流会を開催し、活動員のリフレッシュと相互交流を図った

イ ポイントの還元手続き簡素化に向け、アンケートでインターネット手続きの可否を尋ね、検討した

○事業内容について松阪市と協議

ア 事業目的を踏まえ、登録対象者の条件を見直し、要綱を変更した

イ 松阪市の広報掲載により問い合わせと新規登録があった

◆活動実績

○新規登録者 18 名
○オリエンテーション開催 8 回(計 18 名)
○ささえさん研修交流会2回開催(計 30 名)
○ポイント還元 交付活動員数 77 名 交付金額 281,000 円

（単位:円）

事業名(担当部署)		【新規事業】要支援児童等見守り強化事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(2)			
経営計画との関連		2-(1)			
予算額	8,126,000	執行済額	7,845,598	執行率	96.5%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇22 企業への働きかけにより寄附協力と周知が進み、地域での連携が広がり、地域全体で事業を支える「連携の輪」を構築できた

〇寄附の流れを示す書類を持参して企業・商店を訪問し、御礼と次年度の協力依頼を行った

◆活動実績

〇企業・商店からの寄附　延べ 26 件　協力件数　5 件

〇梱包・配送件数　180 件(20 世帯×9か月分)

〇取り扱い食品数　約 3,040 個

（4）ボランティアセンター事業　（単位:円）

事業名(担当部署)		ボランティアセンター事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-1-(1)(2)			
経営計画との関連		1-(1)			
予算額	5,136,000	執行済額	5,308,735	執行率	103.4%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇ボランティア相談・活動支援体制の充実

ア　松阪市ボランティア連絡協議会との連携・協働

ア)ボランティアサロンにて防災おやつ作りを実施

イ)傾聴ボランティア団体のサポート(松阪図書館での傾聴体験会)

ウ)入所・通所施設等へのボランティア周知やマッチング

エ)各団体の存続や後継者についての相談対応

オ)社会福祉大会でのボランティア啓発の実施

イ　広報・ホームページを使った情報発信

ア)社協だよりでのボランティア啓発

イ)点訳、音訳講座開催の周知

ウ　ボランティア団体助成金事業

ア)ボランティア 20 団体へ助成

〇子ども・学生へボランティア活動に関わる機会の提供

ア　福祉体験教育

ア)ユニバーサルデザイン教育(市内小)　3 校

イ)高齢者・障がい(市内小・中学校)　3 校

ウ)防災教育(市内小・中学校) 14 校　16 回

エ)防災教育(放課後児童クラブ)　1 クラブ　1 回

オ)高齢者・障がい(自治会) 0 回

イ 職場体験わくわくスクール(市内中学校)　1 校

〇災害時の体制づくり

ア　災害ボランティアセンターサポーター養成講座(全 5 回)の開催

イ　災害ボランティアセンターサポーターフォローアップとして、政府備蓄米配布事業に伴う仕分け・配布
ウ　防災意識向上支援として地域防災訓練・HUG 体験（自治会、民児協、サロン等）13 回
エ　松阪ライオンズ、松阪中央ライオンズクラブとの災害協定の締結
オ　市民活動センターと協働し、サロンを通じて多様な団体との災害時のつながりを強めた

◆活動実績

登録ボランティア数

	松阪	嬉野	三雲	飯南	飯高	計
グループ（単位：G）	49G 586 名	6G 71 名	8G 97 名	5G 123 名	4G 33 名	72G 910 名
個人	15 名	3 名	1 名	2 名	0 名	21 名
計	601 名	74 名	98 名	125 名	33 名	931 名

（単位：円）

事業名（担当部署）		ふれあい体育祭事業 （福祉のまちづくり課　地域福祉係）			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ			
経営計画との関連		1-(1)			
予算額	1,335,000	執行済額	1,303,853	執行率	97.7%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇学生ボランティアとの交流を通じて障がいの理解と親睦を深め、ボランティア連絡協議会会員の活動促進にもつながり、参加者も交流や体験を楽しむ機会となった

◆活動実績

〇実行委員会　3 回

〇大会内容

日　時　令和7年 6 月 8 日（日）10：00～15：00
場　所　ハートフルみくもスポーツ文化センター
対象者　障がい者とその家族・ボランティア
内　容　各種出し物・じゃんけんゲーム等

〇当日参加者総数　526 名

ア　障がい者団体　5 団体 68 名（付添い含む）
イ　障がい者事業所　17 事業所 202 名（職員含む）
ウ　障がい者個人　2 名（付添い含む）
エ　ボランティア　一般 71 名　学生 87 名
オ　その他　96 名

（5）重層的支援体制整備事業　　（単位:円）

事業名(担当部署)		重層的支援体制整備事業 (アウトリーチ・参加支援・地域づくり) (本所、松阪・嬉野・三雲・飯南・飯高支所)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅰ　Ⅱ			
経営計画との関連		1-(1)(2)			
予算額	75,998,000	執行済額	74,503,044	執行率	98.0%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇重層的支援体制整備事業の推進

ア　アウトリーチ事業

ア）当事者に寄り添い適切な人（支援）や場所に繋ぐ

生活福祉資金や成年後見支援等の制度活用に加え、こども服リユース事業など地域資源へのつなぎを行い、生活支援と社会参加の双方から支援を実施した

イ）会議や関係機関とのネットワークの中から潜在的な相談者を見つける

まるごと相談室や地域包括支援センター、民生委員児童委員等との情報共有により、早期対応と継続的支援につながった（嬉野）。また、日頃の連携を通じて自治会や保護猫団体との相談ネットワークを構築することができた（松阪）

コミュニティソーシャルワーカー相談ブースを設置し、相談体制の周知を図った

ウ）アウトリーチプランの作成、支援の妥当性や方針について協議

重層的支援会議等に出席し、プラン作成や支援内容の妥当性を協議した（松阪）

プランに至らないケースについても信頼関係構築に向けた働きかけを行い、併せて継続ケースの整理や継続支援の妥当性を検討し、引き継ぎ可能なケースの選別を進めた

エ）通いの場等に訪問し、新たな生活課題に対して地域に受け皿を整える

包括支援センターと同行して地域の高齢者サロンを訪問し、生活支援ニー　ズの聞き取りを行った（松阪）

イ　参加支援事業

ア）当事者ニーズを踏まえた丁寧なマッチング

ひきこもり相談者には、支援者と面会につながるよう自宅で取り組める趣味活動を支援した（松阪）また重層的支援ネットワーク会議では参加支援事例の発表を行った（松阪・嬉野）

イ）本人に対する定着支援と企業などの受け入れ先への支援

相談者の地域行事参加（イラスト制作）を支援し、居場所や軽作業への参加を促した

ウ　地域づくり事業

ア）小地域福祉活動団体と連携をした、地域づくりの実施

地域住民のニーズ生活課題を把握し、住民主体の地域づくりを推進した

イ）地域住民のニーズ・生活課題の把握

関係機関と協働して、移動販売や生活支援サービスに関するニーズ調査を実施した

ウ）地域住民の活動支援・情報発信等

住民自治協議会主催事業において、事業企画や出前教室の講師、コミュニテ

ィコーピングを通じて活動支援を行った
エ)地域コミュニティを形成する「居場所づくり」
福祉まるごと相談室と連携し、住民主体の居場所づくりを支援した
オ)行政や地域住民等地域づくりの担い手がつながるプラットフォームの展開
居場所づくりや生活支援サービスのニーズに対してプラットフォームを展開し、先進地視察や意見交換会へつなげた

◆活動実績

○コミュニティソーシャルワーカーブースの設置
「お米で応援プロジェクト」「今日がしんどいあなたたちへ」「あったかごはんプロジェクト」

○小地域福祉活動団体と連携した地域づくり
矢津町老人会、ワンデイサロン(松阪)
うきさとカフェ、高齢者支援事業、見守りネットワーク研修会(嬉野)

○地域コミュニティを形成する「居場所づくり」
福祉まるごと相談室と協働で各地域でのカフェやサロン、イベント、出張相談の準備など多様な居場所づくりに取り組むとともに、他法人スペースの活用検討や生活支援サービスの視察を実施し、地域の交流促進と支援体制の充実を図った
鎌田まるごとカフェ、ハッピーサロン、ベタニヤ秋祭り、殿町フライデイ、すずみ(つろぎ処)、まるごと休憩処(神戸・徳和)、東部ふれあいフェスティバル、まるごと喫茶(南部)、出張相談準備(松阪)
他法人の空きスペースを活用した居場所づくりの検討と視察、生活支援サービの視察(嬉野)
はぁとふる喫茶、みんなでスローエアロビクス(三雲)
いー南カフェ(飯南)、まるごとサロン(飯高)

(6)猫一時預かり事業　(単位:円)

事業名(担当部署)	猫一時預かり事業 (福祉のまちづくり課 地域福祉係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-(2)Ⅲ-(1)				
経営計画との関連	1-(4)				
予算額	21,000	執行済額	0	執行率	0%

【重点実施項目への取り組み・成果】

○関係機関による協議を実施した結果、相談件数は一定数あるものの、長期預かりの希望や飼い主の在宅復帰が見込めない事例が多く、一時預かり事業の利用条件と合致しない状況が確認された。これを踏まえ、事業の課題および今後の改善方策について意見交換を行った

○年度末に地域包括支援センターおよび介護支援専門員を対象にニーズ調査を実施したが、一時預かりに関する需要は確認されなかった

◆活動実績

○預かり実績なし (問い合わせ 8 件、いずれも対象外)

(7) 地域福祉活動ステップアップ支援事業　(単位:円)

事業名(担当部署)	社会福祉法人を中心とした地域における公益的な取組の促進事業 (福祉のまちづくり課)
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-(2)Ⅲ-(1)

経営計画との関連		1-(4)			
予算額	208,000	執行済額	178,835	執行率	86.0%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇研修会・つどいの開催

ア　社会福祉法人による公益的取組の協議体設置に向けて、研修会開催や準備会設置の合意形成を目的とした“つどい”を実施した。その結果、本会を含む 11 法人が協議体準備会への参画を表明した。また、「あったかごはんプロジェクト」へのスタッフ協力を依頼し、テーマである「生活困窮・孤立」について具体的なイメージを共有する機会となった

〇ネットワーク体構築のための会議体の検討

ア　過去 2 年間の取り組みを通じて、参画法人の公益的活動への意欲が高まっていることを確認した。そのため、ワーキングチーム会議で協議体設立に向けた準備会を設置し、協議体の立ち上げに向けたプロセスを参画法人と共に進めることにした。準備段階では、これまで研修会や「つどい」に参画した法人を個別訪問し、協議体の構想を説明することで、参画への理解促進と関係構築を図った

◆活動実績

〇ワーキングチーム会議の開催（5 回）

〇社会福祉法人を中心とした公益的な取組　研修会開催（1 回）

〇社会福祉法人を中心とした公益的な取組　つどいの開催（1回）

〇市内法人訪問（10 法人訪問）

3　地域生活支援課事業シート

（1）総合相談事業　　（単位:円）

事業名（担当部署）		総合相談支援事業 （本所、松阪）			
地域福祉活動計画の関連		Ⅰ-1-(1)			
経営計画との関連		2－(2)			
予算額	3,026,000	執行済額	2,829,373	執行率	93.5%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇心配ごと相談

ア　松阪支所で定期相談を実施。相談が減少し、相談実績が無い月もあり、事業の効率化を目的に5月より実施回数を週2回（火・金）に変更して稼働率がやや向上したが、心配ごと相談を取り巻く環境の変化や相談員確保等の課題も解消されず、運営について慎重に検討を行った結果、令和7年度末をもって終了することとなった

〇法律相談

ア　月2回の弁護士による無料法律相談を実施。希望者が多く、予約出来なかった相談者に対しては、次回相談日の案内や他の無料相談等の案内を行った

〇司法書士相談

ア　隔月に 1 回、支援者を対象とした司法書士相談を実施。相談支援を行っている支援者の法的な相談に対応。関係機関への案内を継続的に行い、周知を図った

◆活動実績

〇心配ごと相談（年間）　37件

〇法律相談（年間、定員12名/回）　264件

〇司法書士相談（年間、定員5名/回）　28件

（2）資金の貸付事業　　（単位:円）

事業名(担当部署)		生活福祉資金貸付事業 (地域生活支援課　権利擁護係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(2)			
経営計画との関連		2－(2)			
予算額	7,572,000	執行済額	8,427,100	執行率	111.3%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇自立支援機関等との重層的な連携による支援体制の強化

関係機関との強固な連携により、貸付の枠にとどまらない包括的な相談支援を展開した

ア　生活相談支援センターや保護自立支援課等と密に連携し、通常貸付・特例貸付の両面で、就労や家計管理など生活再建に向けた支援へと繋げた

イ　貸付対象外となったケースや、猛暑の影響による生活保護世帯からの急増した相談に対しても、他制度の紹介や適切な窓口誘導を徹底し、支援の空白を作らない対応を実践した

〇多様なニーズに応える相談環境の整備と周知

制度を必要とする層へ確実に支援を届けるため、柔軟かつ積極的なアプローチを実施した

ア　外国籍の相談者に対し、翻訳機（ポケトーク）や英語資料を活用することで、円滑な意思疎通と制度理解を促進した

イ　国の通知に基づき、熱中症対策としての資金活用を適切に案内するなど、社会情勢に応じたタイムリーな情報提供と相談受付を行った

〇コロナ特例貸付者への継続的な償還支援とアウトリーチ

償還開始に伴い、個々の状況に寄り添った債権管理と生活支援を一体的に実施

ア　生活困窮状況を丁寧に聞き取り、要件に該当する方への償還免除や猶予申請を支援し、家計の破綻を未然に防ぐことができた

イ　三重県社協との連携による「アウトリーチ支援事業」を実施し、未償還宅への訪問を通じて生活状況を確認。アンケート結果の共有も含め、孤立させない支援体制を構築できた

◆活動実績

〇緊急小口資金	9 件	830,000 円
〇福祉費		
ア　障害自動車購入費	0件	0円
イ　葬祭費	0件	0円
ウ　転宅費	2 件	317,000 円
エ　小規模住宅改修費	2 件	424,000 円
オ　住宅改修費	0件	0円
カ　生活保護受給世帯の生活必需品購入費	12 件	1,007,000 円
キ　療養費	0件	0円
ク　技能取得費	2 件	1,542,000 円
福祉用具購入費	1 件	390,000 円
〇要保護世帯向け不動産担保型生活資金	0 件	0 円
〇教育支援資金	22 件	13,920,000 円
〇総合支援資金	0件	0円

〇生活福祉資金貸付コロナ特例貸付

判定年度免除申請	6 件	2,840,000 円
次年度以降非課税免除	8 件	3,585,000 円
任意免除	11 件	3,241,740 円
猶予	2 件	333,300 円

（単位:円）

事業名(担当部署)		福祉つなぎ資金貸付事業 (地域生活支援課　権利擁護係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(2)			
経営計画との関連		2－(2)			
予算額	888,000	執行済額	159,000	執行率	17.9%

※予算額に前年度繰越金含む

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇松阪市福祉事務所との連携強化のため、保護自立支援保護係へ初期相談時の注意事項や対象要件についての再周知を行った

〇生活困窮者支援として地域の福祉課題の確認、運用見直しの検討を行った

◆活動実績

〇貸付件数　9件　159,000 円

（単位:円）

事業名(担当部署)		保育士修学資金貸付事業 (地域生活支援課　権利擁護係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-3			
経営計画との関連		2－(2)			
予算額	17,500,000	執行済額	14,563,758	執行率	83.2%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇円滑な貸付・償還事務の実施と適正な審査

貸付予約から実行、その後の猶予審査まで一貫した適正な事務を執行した

ア　3 月に審査委員会を開催し、10 名の申込者全員を貸付予約者として決定。指定養成施設の学生に対し修学を支える資金貸付を滞りなく実施

イ　7 月に猶予審査会を開催するなど、個々の状況に応じた償還猶予手続きを適正に行い、長期的な支援体制を維持

〇多角的な広報活動による事業周知の拡大

学生や教育機関に対し、積極的なアウトリーチを行い制度の認知度向上を図った

ア　主要な養成施設や高等学校へ訪問し、進路指導担当者へ直接協力を依頼。新たに市外の高校や地域振興局へも周知の枠を広げ、情報の未到達層へのアプローチを強化

イ　9月から次年度募集を開始し、進学を検討する学生が早期に資金計画を立てられるよう配慮し、周知を行った

〇地域課題解決に向けた連携と事業展開

地域の「保育士不足」という課題に対し、実効性のある活動を展開した

ア　各高校との意見交換を通じて保育現場の現状を共有。松阪市の「現場見学ツアー」の周知など、行政の取り組みと連動することで、地域福祉を担う人材の確保・育成に貢献することができた

イ　地域の高校や関係機関からのフィードバックを基に、より活用しやすい事業運

営に向けた検討の土台を構築した

◆活動実績

〇令和5年度入学者5名のうち4名が松阪市内の保育園等へ就労
〇令和7年度入学者(貸付1年目) 前期6名・後期6名へ貸付金を送金
〇令和6年度入学者(貸付2年目) 前期10名・後期10名へ貸付金を送金
〇貸付金償還5名 2,400,000 円

(3) 日常生活自立支援事業 (単位:円)

事業名(担当部署)	日常生活自立支援事業 (地域生活支援課 権利擁護係)				
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1-(1)				
経営計画との関連	2-(2)				
予算額	26,780,000	執行済額	29,610,554	執行率	110.6%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇専門性の向上と多職種連携による支援の質の担保
支援員のスキルアップや、地域全体での包括的な支援体制の構築に注力した
ア 重層的ネットワーク会議等の場を通じて、複雑化する福祉課題への知識を深めるとともに、他機関との顔の見える関係性を構築。単独事業では解決困難な事例に対し、地域全体で支える基盤を強化した

〇松阪市成年後見センターとの強固な連携と権利擁護の推進
日常生活自立支援事業から成年後見制度へのスムーズな移行を実現した
ア 年度内で5件の成年後見制度利用へ繋げ、全件において成年後見センターと緊密に連携。市長申立の相談や書類作成段階から協働し、うち2件は法人後見での受任に至るなど、利用者の権利を途切れなく守る体制を実証することができた

〇待機期間短縮に向けた基盤整備と業務効率化の推進
相談から契約までを迅速化するため、次年度を見据えた抜本的な事務改善に着手した
ア 令和8年度からの「総合支援記録システム」導入に向け、業者協議やデータ移行準備を完遂。他事業との情報共有や事務作業の省力化を図ることで、新規相談者の待機期間を短縮し、早期支援開始を実現するためのインフラを整備

◆活動実績

〇身寄りのない高齢者等モデル事業先進地視察
〇三重県社会福祉協議会主催様式見直しに関するワーキングへ参加
〇全国社会福祉協議会主催の専門員実践力強化研修会へ参加
初任者コース2名
〇東海北陸ブロック市町村社協職員研究集会への参加
専門員2名
〇三重県社会福祉協議会主催の生活支援員等研修会への参加
生活支援員11名、専門員4名
〇本会主催の生活支援員スキルアップ研修会を開催
生活支援員12名、専門員4名
〇あゆみ特別支援学校卒業予定者に対する事業説明
対象者5名
〇令和7年度相談・契約実績

（単位:件）

区分	認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
相談援助件数	496	557	2,867	100	4,020
契約件数	11	5	13	0	29
解約件数	13	3	8	1	25

○ 実利用者数件数(令和8年3月末現在)　（単位:件）

認知症高齢者	知的障がい者	精神障がい者	その他	合計
72	50	83	6	211

○生活支援員　登録人数 30名　活動人数 30名　延べ支援回数 2,774 回

(4)地域後見サポート事業　（単位:円）

事業名(担当部署)		成年後見センター事業 (地域生活支援課　権利擁護係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(1)			
経営計画との関連		2-(2)			
予算額	17,945,000	執行済額	15,682,614	執行率	87.4%

【重点実施項目への取り組み・成果】

○丁寧なアセスメントに基づく申立支援の実践

本人や親族の意向を尊重し、関係機関と連携してスムーズな制度利用を支援した

ア 相談時の丁寧な聞き取りや書類確認、家庭訪問を通じて課題を整理。日常生活自立支援事業から成年後見制度への移行を含め、年度内に5件の申立支援を完遂し、適切な受任者への情報提供へと繋げることができた

○親族後見人に対する相談体制の確立

裁判所と連携し、親族後見人が孤立せず安心して職務を継続できる環境を整備した

ア 津家庭裁判所松阪支部にて相談窓口の案内チラシ配布を開始。新規相談の受付に加え、申立支援を行った親族後見人からの継続相談に対応するなど、新様式の報告書作成支援等を見据えた伴走型支援を継続

○多層的なネットワークによる権利擁護の充実

行政・専門職・司法との連携を強化し、複雑な困難事例に対応できる体制を構築した

ア 「松阪市地域連携ネットワーク協議会」を開催。市長申立事例等の検討を通じ、専門職委員や裁判所書記官(オブザーバー)と共に、地域における権利擁護の課題共有と解決策の検討を行った

○司法と広域自治体との連携強化

裁判所や近隣自治体との密接な情報共有により、中核機関としての調整機能を高めた

ア 津家庭裁判所松阪支部の書記官および１市４町(松阪・多気・明和・大台・大紀)の中核機関が一堂に会する「情報交換会」を実施。実務上の運用確認や広域での連携基盤を強化した

○運営の透明性確保と事業の適正化

専門的な視点からの助言を取り入れ、センター運営の質的向上を図った

ア 「地域後見サポート事業運営委員会」を開催し、外部委員からの助言・提言を事業運営に反映。地域の福祉課題や最新のニーズに基づいた、透明性の高いセンター活動を展開した

◆活動実績

○広報・啓発

ア　松阪市成年後見センター主催の研修会開催　参加者:76名
「成年後見制度利用したらどうなる？　～後見人が語る制度のこと～」
イ　津家庭裁判所松阪支部管内の中核機関のチラシを作成、家庭裁判所にて配布を開始した
ウ　外部からの依頼による制度説明等の実施3回

〇相談
ア　246件(認知:158件、知的:21件、精神:48件、その他:16件、不明:3件)

〇利用支援
ア　申立て支援(申立て書類作成相談支援・受理面談同席:30件)
イ　後見人支援(後見人等就任時の情報提供・定期事務報告書作成支援:7件)

〇関係機関との連携
ア　地域後見サポート事業運営委員会　6回
イ　松阪市地域連携ネットワーク会議　2回
ウ　成年後見センター・中核機関情報交換会(旧津家庭裁判所松阪支部管内中核機関情報交換会)　1回
エ　三重県権利擁護支援研修・調査企画会議　1回
オ　成年後見制度利用促進に向けた関係機関会議　1回
カ　松阪市成年後見審判申立審査会　2回
キ　重層的支援ネットワーク会議　3回

〇研修等への参加
ア　成年後見制度関連の研修参加　7回
イ　先進地視察(京都市・京都市社会福祉協議会)　1回

(単位:円)

事業名(担当部署)		法人後見事業 (地域生活支援課　権利擁護係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(1)			
経営計画との関連		2-(2)			
予算額	1,348,000	執行済額	2,578,264	執行率	191.3%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇専門性の高い人材育成と相談支援体制の拡充
支援員のスキルアップと並行し、多様なニーズに応えるための人員体制を強化
ア　新たに非常勤の後見支援員(生活支援員兼務)を配置し、実際の相談現場への同席や、専門職からの助言(運営委員会)を通じ、相談スキルの向上と実務能力の育成を図った

〇切れ目のない支援による法人後見受任の推進
日常生活自立支援事業との連携を深め、制度移行を見据えた受任体制を確立
ア　日自利用者2名を新たに法人後見(後見1件・保佐1件)として受任。将来的な移行が想定されるケースに対し、早期から情報共有や同行訪問を行うことでスムーズな制度利用へと繋げた

〇本人主体の意思決定支援と関係機関連携の深化
本人の意思を尊重した支援を徹底し、司法や地域社会との情報共有を強化
ア　本人の理解度に合わせた丁寧な説明を行い、親族や関係機関と合意形成を図りながら支援の方向性を決定。これらのプロセスを家庭裁判所への事務報告書に適切に記録し、透明性の高い権利擁護活動を実践した

◆活動実績

〇受任件数11件(後見:5件、保佐:5件、補助:1件)
　内、令和7年度の新規受任2件(後見:1件、保佐:1件)

〇被保佐人の松阪市外への転出に伴い、令和6年度に保佐人を辞任した件について、後任の保佐人へ引き継ぎを行った

〇成年後見制度基礎研修会参加

(5) 育英基金事業　(単位:円)

事業名(担当部署)		育英事業 (飯南支所)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-3			
経営計画との関連		2-(2)			
予算額	22,040,000	執行済額	1,575,990	執行率	7.2%

※予算額に前年度繰越金含む

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇周知活動と利用ニーズへの柔軟な対応

制度を必要とする世帯へ確実に情報を届けるとともに、より利用しやすい制度への見直しを行った

ア　飯南地区への全戸配布や飯南高校・市内高校への訪問を実施。令和8年度募集分より「収入要件の緩和」を決定し、経済的な不安を抱える世帯の潜在的ニーズに応える体制を整備した

〇計画的な奨学生の募集と選考の実施

地域の次世代を担う学生に対し、安定的な支援の提供を実現した

ア　令和8年度生について、一次募集で2名の予約採用を決定し、二次募集でも1名の申請を受付。運営委員会等を通じた適切な選考プロセスにより、学びを支える給付型奨学金の着実な執行に繋げた

〇適正な基金管理と地域状況の把握

基金の持続可能性を高め、地域の教育支援基盤を維持するための管理業務を実施

◆活動実績

前年度末　未償還額	3,510,000 円
令和7年度　貸付額	0円
令和7年度　償還額	1,824,000 円
令和7年度　未償還額	1,686,000 円

〇育英事業給付

前年度末　　給付額	1名	300,000 円
令和7年度　給付額	5名	1,500,000 円

(6) その他福祉受託事業・在宅福祉受託事業　(単位:円)

事業名(担当部署)		福祉まるごと相談室運営事業 (嬉野・三雲・飯南・飯高支所・阿坂伊勢寺鈴の森)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅰ-1-(1)			
経営計画との関連		2－(1)			
予算額	33,306,000	執行済額	32,746,356	執行率	98.3%

【重点実施項目への取り組み・成果】

《嬉野》

〇健康、福祉の総合相談

ア　民生児童委員の改選年度となったが、前任の方からは退任後も継続した相談を受けている。後任特に新任となった方にも窓口の認識をしてもらえるよう周知を実施。結果、民生児童委員からの新規相談件数は年間13件あり、前年度の9件を上回った

イ　出前講座や出張相談会を年間で30回実施。前年度までなかなか実施できていなかった、中郷、豊地、豊田地区での実施も行えるようになり、嬉野地区全域へアウトリーチしていく足掛かりを築くことができた

ウ　個別相談を通して、公的制度では対応しきれず、家族や本人のみが抱え込む多様化・複雑化した生活課題（制度の狭間の問題）が地域において生じていることを実感。社会参加への第一歩につながる居場所づくりの検討を開始した

〇健康づくり、介護予防の事業実施と啓発

ア　まるごと相談室医療職と嬉野保健センター保健師にて健康講座、健康相談を嬉野6地区全てにおいて実施。三重県農業大学校での活動も継続し2年目を終えた。実施回数が増えたことで、事業実施後に健康面、医療面での個別相談につながっていった

〇見守り、支援のネットワークづくり

ア　中原地区で話し合われる福祉課題の協議体に年間で5回の意見交換会と、先進地事例視察を行った。地域ニーズを踏まえ今後地域での支え合い活動（有償ボランティア）の実施に向けて、協議を継続していく

イ　制度の狭間を埋める取り組みとして、地域コミュニティを形成する、地域資源と連携した居場所づくり（コミュニティスペース）の展開を検討。社会福祉法人むつみ福祉会との協議にて未使用施設を利用可となり地域資源の活用が実現

《三雲》

〇複合化・複雑化した多様な個別課題や地域課題の相談

ア　警察から寄せられる相談は緊急性の高い案件が多く、社協や振興局等と連携しながら迅速な対応を行った。

〇地域で広げる健康づくりと連携した個別課題の支援

ア　乳幼児子育て教室（ハートフルベビーキッズ）や乳幼児相談では、保護者が抱える不安悩みに丁寧に耳を傾け、各課題に応じた健康講話を実施した

イ　包括との連携のもと、出前講座や公民館行事で健康講座を実施した。来年度も高齢者がフレイルを予防し、健康寿命を延ばせるよう取り組む

〇地域で支え合うネットワークづくりと地域を結ぶ参加支援

ア　支援対象者の得意分野を活かし、はぁとふる喫茶参加者に短時間のストレッチの紹介をする講師を担うという形で、本人の生きがいや役割を見いだすサポートをした

《阿坂・伊勢寺・鈴の森》

〇健康、福祉の総合相談

ア　令和7年8月開設、相談支援対象者の年齢層は65歳以上の高齢者の相談が半数を占めていた

イ　ひきこもりやこどもに関する相談など多様なケースもあり、他機関と連携を図りながら支援を行った

〇健康づくり、介護予防の事業実施と啓発

ア　地域のイベントでは、健康コーナーとして血圧測定や握力測定を実施、多世代の方に実施いただき健康づくりの啓発を行った

イ　公民館だよりに健康コラムを掲載し、健康づくりについての情報提供を行った
〇見守り、支援のネットワークづくり
ア　各地域の住民自治協議会や民生委員児童委員の会議に出席し、顔のみえる関係性を築き、ネットワークづくりに努めた
《飯南》
〇健康、福祉の総合相談
ア　本会飯南支所と共催の「いー南カフェ」が気軽な相談場所となり、参加者から出張相談を受けている
イ　民生委員から心配な方の相談や民生委員の役割についての相談を受けており、民生委員・児童委員サポート事業として活用してもらっている
〇健康づくり、介護予防の事業実施と啓発
ア　医療職が本会の事業や地域の集いで健康づくりに関する出前講座を実施し、健康教育・健康づくりの啓発ができた
イ　本会の事業や地域の催しで身体測定、血圧測定、足指測定を実施し、医療職からの助言を伝えることで健康づくりと介護予防の啓発ができた
〇見守り、支援のネットワークづくり
ア「いー南カフェ」を毎週開催することで、地域住民同士の交流や関係機関とネットワークを構築する居場所となっている
イ　住民自治協議会や民生委員・児童委員協議会などの会議、地域の集いや催しに参加して早期の相談につながるよう、顔のみえる関係性を構築した
ウ「飯南地域における見守り体制構築のための会議」に参加し、関係機関と高齢者の見守りに関する情報や課題を共有することで地域課題の把握や早期の相談につなげている
エ　松阪市第三地域包括支援センターのスーパーや郵便局での出張相談会、実態把握調査に同席して事業周知を行った。企業とのつながりや訪問による事業周知を通して、地域の身近な相談窓口として認知してもらっている
オ　地域まるごとサポートチーム連携会議を開催することで、地域課題について関係機関で共通認識を持ち、情報共有や協議する機会が持てた
《飯高》
〇健康、福祉の総合相談
ア　高齢化率の高い地域であり支援対象者年齢は65歳以上の割合が多かった。相談内容は病気・健康が一番多く、次いで障がいが多かった
イ　まるごと相談室内だけで解決が困難な事例はコミュニティソーシャルワーカーや地域包括支援センター、健康福祉総務課、こども家庭センターなどにつなぎ・相談し解決をはかった
ウ　本人、家族、支援関係機関からの相談が多かったが、民生委員や地域住民からの相談もあった
〇健康づくり、介護予防の事業実施と啓発
ア　医療職が母子乳幼児健康相談やまるごとサロン、地域の行事にて健康づくりや介護予防の講話や体操で事業実施と啓発をおこなった
イ　まるごとサロンで地域の診療所医師による糖尿病についての講演会を開催し約60名参加していただき、地域住民に健康情報提供をおこなった
〇見守り、支援のネットワークづくり
ア　けあまねっとや月1回の森診療所勉強会などに参加し、介護関係機関と情報共有、ネットワークづくりをおこなった

イ　居場所づくり事業として地域交流、参加支援、地域課題把握、健康啓発を目的にまるごとサロンにて月平均3回実施(5会場)した

ウ　定期的に様子確認が必要な相談者には定期訪問をおこない、訪問後に関係機関などと情報共有をおこなった。また必要に応じて、コミュニティソーシャルワーカーや関係機関・地域包括支援センター職員と同行訪問をおこなった

エ　月平均3回(5会場)『まるごとサロン』を実施した。医療職から季節の健康講話や体操など健康啓発、情報提供、交流の場、居場所づくりの場として実施。また、地域の方を講師として招き、編み物教室や料理教室などを実施して、学び・活躍の場となった

オ　地域まるごとサポートチーム連携会議を開催することで、地域課題について関係機関で共通認識を持ち、また、情報共有や協議する機会が持てた

◆相談実績　(単位:件)

	相談件数	来所	電話	訪問	出張相談	メール	その他
嬉野	774	192	366	104	94	16	2
三雲	857	155	506	89	74	4	29
阿・伊・鈴	180	51	88	35	3	0	3
飯南	438	98	197	87	56	0	0
飯高	330	45	194	81	8	1	1
合計	2,579	541	1,351	396	235	21	35

○相談内容　(単位:件)

相談内容	嬉野	三雲	阿・伊・鈴	飯南	飯高
介護について	172	474	53	59	36
障がいについて	248	152	20	26	120
病気・健康について	387	241	35	112	142
経済的課題(生活困窮、就労支援等)	116	88	17	128	83
生活環境について	96	66	8	30	23
身寄り・終活について	86	12	2	3	7
子育てについて	11	56	3	42	27
ひきこもり・不登校について	20	34	2	10	12
DV・虐待について	5	17	1	7	20
人間関係について	114	37	8	21	14
その他	55	110	68	107	91
合計	1,310	1,287	217	545	575

(単位:円)

事業名(担当部署)		ひきこもり支援推進事業 (地域生活支援課　生活相談支援係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(3)			
経営計画との関連		2-(2)			
予算額	15,986,000	執行済額	15,970,780	執行率	99.9%

【重点実施項目への取り組み・成果】

○相談体制の強化(協働と整備)

ア　ケース数の増加による支援取りこぼしリスク予防のため、個別支援カレンダー

を活用したケース進捗確認を日々の標準業務としたことで、令和6年度の延べ支援回数825件から1622件へと約2倍を数える結果となった

イ 松阪市重層的支援ネットワーク会議などを通じ、コミュニティソーシャルワーカーや、福祉まるごと相談室をはじめとする各種支援機関と繋がり協働を重ねたことで、重層的支援体制整備に貢献できた

〇第三の居場所機能の強化（取り組みの継続と試行）

ア 家族同士が労い合い、リラックスして一息つけるような機会として憩う場を試行軌道に乗せるには至らなかったが、将来的な家族会設立に向けての十分なきっかけとなった

イ 第三の居場所として開設運営した『ちょっ蔵居ぃ場所』や、屋外での『日実つ木ち（ひみつきち）』において、各々の特色を強調したことで、クライエントの満足度を高め、当日の活動内容は勿論、屋内外を選べるまでに発展させることができ、参加者が大幅に増加した

ウ 家族のつどいやフォーラムにおいて、毎回のテーマに見合うバラエティーに富んだゲストを呼び、その意図や狙い、目標を明確に表現してきたことで、参加人数の増加と満足度の向上を達成できた

エ 第三の居場所をプラットフォームとしての活用を強く意識してきた結果、多くの関係支援機関が見学者として出入りし、支所圏域や福祉まるごと相談室圏域における今後の居場所づくりや参加支援の学びを提供することができた

〇ひきこもりにおける正しい理解の促進と地域づくり

ア 市民フォーラムでは、想定を上回る 100 名が参集し、アンケートの「ひきこもりの理解は進んだか」の質問に対し、回答者の 89%が「ある程度進んだ」以上を回答。目標を達成することができた

イ 既存団体より依頼を受け出前講座を開講。孤独や孤立、ひきこもりに関することを十分に周知・啓発できた

◆活動実績

〇相談の内訳（単位：件）

ア 新規実数 56、 継続延べ数 1622

イ 支援方法内訳

電話 465、 来所 205、 メール 2、 LINE 52、 出張 5、 訪問 98
精神保健福祉士による相談 12、 居場所支援 128、 郵送 128
情報共有 150、 その他 61

〇居場所や集いの開催と参加数

ア 当事者の居場所『ちょっ蔵居ぃ場所』 開催 24回 延べ107名

イ 当事者の居場所『日実つ木ち』 開催 6回 延べ20名

ウ 家族のつどい開催 6回 延べ100 名
（ひきこもり支援フォーラムへの参加者数100名のうち名簿19名を含む）

エ 家族の憩う場開催 5回 延べ6名

〇よりそいサポーター

ア ワーキング 6回 35名
（第3回として、ひきこもり支援フォーラムへの参加者数 6 名をカウント）

イ よりそいサポーターフォローアップ研修 計 21名
参加 よりそいサポーター 7名 他関係支援機関 14名

〇ひきこもり支援連携会議 計 5回

ア 会議開催 3回、 資源視察 2回

〇ひきこもり支援フォーラム

ア 参加者総数 100 名（うち、第3回家族のつどい参加者19名含む）

（単位:円）

事業名(担当部署)		生活困窮者自立相談支援事業 (地域生活支援課　生活相談支援係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(2)			
経営計画との関連		2-(2)			
予算額	24,488,000	執行済額	23,818,789	執行率	97.3%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇相談支援体制の再整備とアウトリーチの強化

人員配置の最適化により相談機能を回復し、現場に寄り添った機動的な支援を展開した

ア　適切な人員配置により支援体制を立て直し、作成件数が着実に増加。短期間の関わりが見込まれるケースでも積極的にプランを作成し、早期の生活再建を支えることができた

イ　居住支援において民間業者と連携し住居確保を実現したほか、専門職への相談同行やアウトリーチを継続し、相談者の不安解消と手続きの円滑化を図った

〇多層的な連携による複合的課題への対応

法人の専門部署や外部機関と緊密に連携し、複雑化した相談事例に対し包括的な解決を試行した

ア　日常生活自立支援センターやコミュニティソーシャルワーカー等と協働し、単独の事業では解決困難な複合課題に対応した

イ　重層的支援体制整備事業の包括的相談支援を担う中核機関の一つとして、行政と連携し、地域におけるセーフティネットの維持に寄与することができた

〇ハローワーク等との連携による就労自立の推進

就労を生活自立の柱と捉え、関係機関との情報共有に基づいた個別支援を強化

ア　生活保護受給者等就労自立促進事業の積極的な活用を図った。ハローワーク等の専門機関との連携を深めることで、個々の特性に応じた就労支援を実施し、経済的な自立に向けた道筋を明確にした

◆活動実績　（単位:件）

支援内容	内訳	件数
相談支援	新規相談受付	389 件
	継続相談	4,692 件
	プラン作成	104 件
就労支援	就職決定	41 件
	面接のためのスーツ貸出	19 件
	履歴書証明写真の撮影	19 件
住居確保給付金	延べ相談	139 件
	申請	7 件
	支給決定	7 件
	新規相談受付	21件
その他	相談支援員養成研修	0 件

（単位:円）

事業名(担当部署)		生活困窮者家計改善支援事業 (地域生活支援課　生活相談支援係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(2)			
経営計画との関連		2-(2)			
予算額	6,390,000	執行済額	6,299,088	執行率	98.6%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇家計の「見える化」による主体的な再生支援とプラン作成の促進

相談者自身が課題に気づき、自立に向けた一歩を踏み出せるよう伴走支援を強化

ア　年度当初の人員不足による影響を、下半期の体制充実によって克服。自立相談支援事業との連携を円滑化することで、収支バランスの確認から家計再生プランの作成までを一体的に行い、前年度を上回る実績を達成

イ　家計表を用いた現状把握を通じ、支出削減の助言や就労支援の案内を適宜実施。相談者の主体的な取り組みを促し、家計の安定化を支援した

〇滞納解消や債務整理に向けた実効性のある制度活用と介入

家計を圧迫する固定費や債務に対し、専門的な知見を活用した支援を展開

ア　生活福祉資金の相談への早期介入や、各種給付制度の案内を徹底。税金等の滞納者には、関係機関への同行・分納交渉を支援するなど、制度活用による家計基盤の再建に努めた

イ　深刻な債務課題を抱えるケースに対し、法テラスや消費生活センター等の専門機関へ繋ぎ、必要に応じて同行支援を行うことで、早期の根本解決を図った

〇多様な社会資源との連携による包括的支援の展開

家計課題の背後にある複合的なニーズに対し、多職種の強みを活かしたネットワーク支援を実践した

ア　日常生活自立支援事業や重層的支援体制整備事業と連　動し、家計改善支援の枠を超えた包括的なケアを実施。法内外の社会資源を活用した多職種連携会議等を通じて、相談者の孤立を防ぎ、継続的な見守り体制を構築した

◆活動実績

（単位:件）

支援内容	件数
相談	1,131
家計再生プラン作成	35
弁護士や司法書士等への連携支援 (法テラス、多重債務連携システム、消費生活センター等への相談含む)	16

（単位:円）

事業名(担当部署)		生活困窮者就労準備支援事業 (地域生活支援課　生活相談支援係)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅲ-1-(2)			
経営計画との関連		2-(2)			
予算額	7,159,000	執行済額	6,866,571	執行率	95.9%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇相談者の状況に応じた就労準備支援プログラムを7件実施。長期のブランクがあった1名は就労支援に移行し、一般就労を達成した。また、就労経験のない2名については、就労体験を経て、雇用契約のないアルバイトやポスティング業務を開始

するなど、収入を得る活動へとつなげることができた
〇本会の松阪・嬉野・三雲支所において軽作業の機会を確保することができた。また、嬉野支所では生活介護のボランティア体験の実施にもつなげることができた
〇就労体験の協力依頼を通じて、体験から就職につながる可能性のある事業所2件を新たに協力事業所として登録できた
〇挨拶や身だしなみへの意識づけとして、個別説明の機会を設け、身だしなみチェックシートを作成し、体験前に確認できる体制を整えた
〇ひきこもり地域支援センター等と連携し、居場所利用や受診同行、農作業体験、軽作業の見守りなどを通じて、重層的・包括的な支援を実施
〇挨拶や身だしなみについて継続的な声掛けを行い、日常生活での意識づけは図れたが、社会人としてのマナーや言葉遣いなど新たな課題も見られ、今後は資料や講義を通じた支援が必要
〇本人中心の支援に加え、家族へのアプローチも行い、課題の整理と適切な支援機関へのつなぎを実施
〇協力事業所の一部に対し、電話やメールでの連絡を行い、協力依頼や体験内容の確認を進めることができた
〇松阪ロータリークラブの定例会に参加し、事業の周知と就労体験協力事業所への協力依頼を行うことができた

◆活動実績

〇就労準備支援プログラム作成・相談件数
ア　相談（延べ）　183件
イ　就労準備支援プログラム作成　7件
ウ　就労体験・ボランティア体験同行（体験前の打ち合わせも含む）　60件
〇主な支援の内容
ア　株式会社 NAKAGAWA、株式会社ワラック等、企業や事業所での就労体験同行、ポスティング事業所での説明会同行、津高等技術学校での塗装業オープンスクール同行
イ　タケガワ動物園、本会の嬉野支所生活介護ボランティア体験同行、地域の農園での農作業体験同行、JA みえなか契約農家での収穫見学
ウ　一般社団法人松阪市観光協会の軽作業、本会の松阪支所・嬉野支所・三雲支所での軽作業への取り組み
〇その他
ア　ユナイト三重株式会社、株式会社ワラックと協力事業所覚書を締結
イ　ひきこもり支援連携会議への定期出席

1　部門総括

令和7年度は、施設・事業マネジメントを実施し、安定した事業運営ができるよう事業形態の変更や収益改善に取り組みました。しかし、物価及び人件費上昇、老朽化した設備の故障の影響により各事業の経営を圧迫しており、経費削減や食費などの見直し、新たな加算取得について検討を行いました。また、職員の退職により事業所では利用者への食事提供方法の変更を行いました。共同生活援助事業においては、「はーとりあ飯高」では、令和7年4月より「みくもホーム」では、令和8年2月より外部サービス利用型から介護サービス包括型へ変更し収益改善につなげました。

令和7年7月30日に発生したカムチャツカ半島沖を震源とする地震発生により、三雲地域で運営しているサービス事業は、嬉野社会福祉センターへ津波による避難を実施しました。サービス利用者それぞれの特性により避難行動に時間を要する等課題を把握しました。避難計画を見直し、津波垂直避難訓練・職員避難経路の確認を行い安全に避難できるように備えました。

新人職員を対象に人材育成プログラムを実施し、定期的に面談指導などを行い事業所とともに人材育成に取り組みました。

あり方検討委員会の検討材料として施設・事業所マネジメント基準のひとつとしてポートフォリオを作成し状況把握しました。

2　事業シート

（1）在宅福祉サービス事業　　（単位:円）

事業名(担当部署)		在宅福祉サービス事業 (在宅福祉サービス課)			
地域福祉活動計画の関連		Ⅰ、Ⅱ-1　2、Ⅲ			
経営計画との関連		3			
予算額	1,182,000	執行済額	1,137,692	執行率	96.3%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇財務確保及び施設・事業マネジメントの実施
　ア　物価高騰のよる食費を見直し改善(通所介護・生活介護)
　イ　施設・事業所マネジメントの検証および見直しの実施(はーとりあ飯高)
〇資格取得の支援及び人材育成システムの実施
　ア　資格取得促進により介護福祉士１名、社会福祉士１名資格取得
　イ　高校卒業後の新人介護職員育成のプログラムを実施し、面談を行い事業所とともに取り組むことができた(飯南通所)
〇実践的な交通安全講習会の実施、事故検証による再発防止
　ア　令和6年度車輌事故を分析し、再発防止のためリフト車の特徴や内輪差など安全運転講習会を開催(松阪支所・嬉野支所)
　イ　自動車学校による安全運転講習を実施
〇法令に基づく委員会・研修会の実施(身体拘束廃止・虐待防止・感染症)
〇上半期・下半期の年２回内部監査を実施し、必要に応じて指導を行った
〇BCP 訓練・研修(感染症・自然災害)の実施

（2）高齢者福祉サービス

事業種別	訪問介護事業(松阪・飯高)※福祉有償運送含む
事業所名	訪問介護事業所
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-1(1)(2)、Ⅱ-3(1)
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額　（単位:円）

	松阪支所	飯高支所	収支計
収入	29,202,830	24,389,718	53,592,548
支出	32,013,701	23,298,605	55,312,306
差引	△2,810,871	1,091,113	△1,719,758

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇物価高騰により福祉有償運送運賃の対価を変更し収益改善を行った。
〇登録ヘルパー確保のため、募集チラシの配布をし、声掛けを行った。新しい職員の確保のため、今後も継続(飯高)
〇法令遵守の取り組みとして委員会の開催(感染症・虐待防止)及び、研修の受講(感染症・虐待委防止)
〇第三包括に依頼し、認知症研修を実施し、認知症の利用者様への対応が出来るよう資質向上に繋がった(飯高)

事業種別	通所介護事業(嬉野・三雲・飯南・飯高)
事業所名	通所介護事業所
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額　（単位:円）

	嬉野支所	三雲支所	飯南支所	飯高支所	収支計
収入	70,300,510	46,032,800	88,977,135	47,318,444	252,628,889
支出	68,545,624	52,651,767	81,765,654	51,544,020	254,507,065
差引	1,754,886	△6,618,967	7,211,481	△4,225,576	△ 1,878,176

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇利用者減少に伴い事業所定員数を27人から22人へ変更(三雲)
〇機能訓練計画に基づき、利用者本人に聞き取り等を行い体力の維持・向上ができた。(嬉野)
〇利用者満足度アンケートの結果を受け改善に取り組んだ(三雲、嬉野、飯南、飯高)
〇研修の受講(感染症・虐待防止・入浴・ハラスメント・BCP/机上訓練等)
〇資質向上に向けて機能訓練・看護ミーティングの実施(毎月)(飯南)
〇新人職員教育及び相談員の育成(飯南)
〇認知症介護実践者研修の受講(2 名)(飯南)
〇利用者ニーズに沿った加算算定し収益の維持(飯南)
〇医療と連携し医療度の高い困難ケースを受入れ利用者のニーズに合わせて支援提供につながった(飯南)
〇調理員の退職により食事提供方法を変更し(飯高)
〇物価高騰のよる食費を見直し改善(嬉野、飯南、飯高)
〇食事提供の変更を行うことで人件費の経費削減に取り組んだ。(三雲)
〇虐待防止・利用者満足度・機能訓練アンケートの実施し改善(飯南)

○津波垂直避難訓練・職員避難経路の確認を行う。可搬型階段昇降機、担架での訓練を実施しそれぞれの役割や職員の避難確保の確認に取り組んだ。(三雲)
○避難訓練を実施し、2回目の訓練のときにかぶりにくかったヘルメットを防災頭巾に変えるなどの改善を行った。(嬉野)

事業種別	総合事業(松阪)
事業所名	福っき一体操くらぶまつさか
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2(1)
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額　(単位:円)

	松阪支所
収入	9,949,727
支出	10,407,101
差引	△457,374

【重点実施項目への取り組み・成果】
○地域担当や地域包括支援センターとの連携および、利用者からの新規利用者の紹介があった。
○11月より調理実習を実施し、利用者へのサービスの向上、他事業所とは違ったサービスが提供できた。
○法令順守の取り組みとして委員会の開催及び研修の受講(虐待防止、自然災害、感染症の訓練)
○虐待防止アンケート・利用者満足度調査を行い、結果に基づき業務改善を行った。

(単位:円)

事業種別		外出支援通所サービス運営事業(飯高)			
事業所名		飯高サテライト			
地域福祉活動計画の関連		Ⅱ-2			
経営計画との関連		1-(1)			
予算額	9,989,000	執行済額	9,713,588	執行率	97.2%

【重点実施項目への取り組み・成果】
○利用者のニーズにもとづく創作活動やレクリエーションの実施等、介護予防運動を積極的に取り入れた。
○地域、世話人、第三包括、居宅等との連携を密にし、新規利用者獲得や介護保険に繋げた。
○募集チラシを町内の公共施設、商店等に貼付の依頼をした。

事業種別	居宅介護支援事業(松阪・嬉野・飯高)
事業所名	居宅介護支援事業所
地域福祉活動計画の関連	Ⅰ-1(2)、Ⅲ-1(1)
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額　(単位:円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
収入	44,908,670	58,054,491	30,346,410	133,309,571
支出	40,569,709	51,777,868	27,694,512	120,042,089

差引	4,338,961	6,276,623	2,651,898	13,267,482

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇令和7年4月より介護予防支援事業所の指定を取得（松阪、飯高、嬉野）
〇看護学校実習生の受け入れによる指導力向上（松阪、嬉野、飯高）
〇質の高いケアマネジメントを提供できるよう、事業所加算維持のため、主任介護支援専門員の資格取得、及び更新による資質向上（嬉野、飯高）
〇資格更新、主任介護支援専門員資格取得による資質向上（松阪）
〇多様化する利用者ニーズに対応するため、多職種勉強会参加、他法人との合同研修会行った（嬉野）
〇多職種勉強会への参加によるネットワークの構築と資質向上（松阪、飯高）
〇他法人との合同研修会開催による連携と資質向上（松阪）
〇地域包括支援センターから紹介の困難ケースは、松阪市、コミュニティソーシャルワーカー、地域住民などの協力者とともにネットワークを構築した支援（松阪）
〇虐待防止アンケート及び利用者満足度調査結果に基づいた業務改善（松阪、嬉野）
〇法令遵守の取り組みとして委員会の開催 （虐待防止・身体拘束適正化検討）、BCP 訓練・研修の受講（感染症・虐待防止・自然災害）（松阪、嬉野、飯高）

事業種別	地域包括支援センター事業※介護予防支援事業を含む
事業所名	第二地域包括支援センター 第三地域包括支援センター
地域福祉活動計画の関連	Ⅰ-1、Ⅱ-1 2、Ⅲ
経営計画との関連	1、2、3

◆予算額　（単位:円）

	第二包括（予防プラン含む）	第三包括（予防プラン含む）
予算額	64,971,000	45,367,000
執行済額	64,667,185	44,725,781
執行率（収入）	99.5%	98.6%

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇認知症初期集中支援チームとの連携による認知症支援体制の強化
ア 認知症キッズサポーター養成講座開催に向けて、管内全ての小中学校へ講座説明を行い、3か所の小学校（計6クラス）で開催。また、小学校区の民生委員と生徒が関わる機会ができた。（第二）
イ 認知症サポーターを対象としたフォローアップ教室として、防災と認知症をテーマに各地区単位で4か所において開催。（第二）
ウ 認知症が疑われる方に対し、認知症初期集中支援チームと協働して支援にあたり、病院受診や介護サービスに繋げるなどの支援を行った。（第二）
〇生活支援体制の推進と多職種での在宅ケアサポート体制づくり
ア 終活の講座をする中で「もめんノート」の普及啓発を行った。（第二）
ウ 地域担当と協働しコープみえの移動販売実施に向けての取り組み（令和7年4月より開始）（第三）
エ 地域担当と協働し飯高地区デマンド交通の「かはだバス」の体験会を実施（第三）
オ 地域見守りネットワークの構築として、見守り体制づくり会議を年に2回開催（第三）
〇健康づくりと介護予防の推進
ア 令和6年度に立ち上げた宅老所に対し、継続的な開催の支援を行い3回シリー

ズの事業を実施し、楽しさ大切さを周知。宅老所の継続につながった。(第二)
イ 高齢者のQOL向上を目的として地域でスマホ教室を開催(第三)
ウ 公民館や地域おこし協力隊、地区福祉会とコラボした事業を実施し、事業のPRができた(第三)

事業種別	介護保険認定調査事業(松阪・嬉野・飯高)
事業所名	居宅介護支援事業所
地域福祉活動計画の関連	–
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額 (単位:円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
収入	17,845,870	4,662,400	1,165,600	23,673,870
支出	17,146,413	3,889,892	952,092	21,988,397
差引	699,457	772,508	213,508	1,685,473

【重点実施項目への取り組み・成果】
〇ホームページ、広報誌、フリーペーパーなどへの求人案内の掲載をした。(飯高)
〇認定調査員研修による人材育成及び意見交換による情報共有を行なった。(飯高)
〇新規職員において認定調査員研修を受講し資格の取得(飯高)
〇認定調査員の確保に向け、該当する方への声掛けを行ったが難しかった。(飯高)
〇認定調査員の都合により、職員で対応する準備を整え、調査を行なった。今後も認定調査員の都合がつかない場合は職員で対応していく。(飯高)
〇認定調査員継続のため、介護支援専門員の資格更新研修受講のサポートを行った(嬉野)
〇資質向上のため、認定調査員の意見交換会、勉強会を行った(嬉野)

(3)障がい者福祉サービス

事業種別	居宅介護事業(松阪・飯高) ※同行援護、移動支援サービスを含む
事業所名	居宅介護事業所
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-1(1)(2)、Ⅱ-3
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額 (単位:円)

	松阪支所	飯高支所	収支計
収入	26,484,220	11,451,760	37,935,980
支出	18,080,419	7,092,692	25,173,111
差引	8,403,801	4,359,068	12,762,869

【重点実施項目への取り組み・成果】
〇登録ヘルパー確保のため、募集チラシの配布をし、声掛けを行い新しい職員の確保には至っていない。今後も、職員確保に向け、チラシ配布、声掛けを行っていく。(飯高)
〇法令遵守の取り組みとして委員会の開催及び研修の受講(感染症・虐待防止・身体拘束適正化検討)
〇喀痰吸引を必要とする利用者の支援を令和８年4月1日開始にあたり、職員1名年度中に実習を終え、令和8年4月1日付けで事業所登録(松阪)

〇毎月ヘルパー会議で研修を行い、職員の資質向上に努めた。(飯高)

事業種別	生活介護事業(嬉野・三雲)
事業所名	嬉野生活介護事業所、サン・ウイングスみくも
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額 (単位:円)

	嬉野支所	三雲支所	収支計
収入	56,294,760	54,580,010	110,874,770
支出	48,298,001	44,111,934	92,409,935
差引	7,996,759	10,468,076	18,464,835

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇虐待防止アンケート及び利用者満足度調査結果に基づいた業務改善(嬉野)
〇法令遵守の取組として委員会の開催(感染症・虐待防止・身体拘束廃止適性化検討)及び研修の受講(業務継続計画感染症、自然災害・机上訓練感染症、自然災害・感染症)(嬉野、三雲)
〇事例検討及び利用者アンケートの実施、内部研修による職員の資質向上 (三雲)
〇強度行動障害者研修基礎研修・サービス管理責任者実務者研修を受け職員の質の向上を行った。(嬉野)
〇地域行事などへの参加(三雲)
〇地域行事はサン・ウイングスみくも周辺の地域清掃活動実地、10月運動会(他の地域事業所と交流)(三雲)
〇自主避難の課題と BCP の見直しも踏まえ12月避難訓練を実地(三雲)
〇実践的な防災訓練、避難訓練の実施(三雲)
〇防災訓練(2 回)実施(嬉野)

事業種別	就労継続支援 B 型事業(松阪・嬉野・飯高)
事業所名	えみわーく、嬉野ゆうゆう、飯高じゃんぷ
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額 (単位:円)

	松阪支所	嬉野支所	飯高支所	収支計
収入	37,697,744	42,926,092	39,675,316	120,299,152
支出	38,067,326	38,776,268	26,914,202	103,757,796
差引	△369,582	4,149,824	12,761,114	16,541,356

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇新製品の開発をはじめ、作品制作の意欲向上につながった(飯高)
〇年間複数の出店販売(マルシェ)に利用者と共に参加。自主製品の販売を通じて地域住民と交流ができた。(飯高)
〇あゆみ特別支援学校3年生3名の実習生を受け入れ、令和7年度卒業後3名の新規利用者獲得(松阪)
〇城山特別支援学校2年生1名の実習生の受け入れ(松阪)
〇職員体制が整わない為、えみりあカフェは休業することになったが、メニュー改訂、テイクアウトでのお弁当や総菜の販売、配達することで売り上げが上昇(松阪)
〇請負作業の受注数の増加や、松阪支所内清掃、えみりあ総菜等の売り上げ増など

で、平均工賃が約 6000 円上昇した。(松阪)
○地域イベントや社福大会に参加し、事業所の宣伝、営業を行った(松阪)
○法令遵守の取組として委員会の開催(感染症・虐待防止・身体拘束廃止適性化検討)及び研修の受講(業務継続計画感染症、自然災害・机上訓練感染症、自然災害・感染症)(嬉野、松阪、飯高)
○虐待防止アンケート及び利用者満足度調査結果に基づいた業務改善を行った(嬉野)
○満足度調査の結果より外出訓練の内容のアンケートをとった上で実施した(嬉野)
○防災訓練の2回目を行ない、火事場により避難先を変更する説明をして実施(嬉野)
○マルシェに参加し、自主製品の販売を通じて地域住民との交流の場をもった(嬉野)
○サービス管理責任者・児童発達支援管理責任者実践研修の受講により2名取得(嬉野)
○地域担当と協同して民児協から鞄の発注を受け、新たな画材発案における商品開発に繋げることができた(嬉野)

事業種別	多機能型事業(飯南)
事業所名	夢風船
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1(3)
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額　(単位:円)

	飯南支所
収入	53,767,125
支出	52,778,888
差引	988,237

【重点実施項目への取り組み・成果】
○事例検討及び利用者アンケートの実施、強度行動障害支援者を支援する人材育成
ア　虐待事例研修会への参加と伝達講習による資質向上
イ　強度行動障害支援者養成研修を受講し資質向上(実践研修2名、基礎研修2名)
○地域の新しい行事への参加(旧郵便局でのチェロコンサートでの販売)
○令和 8 年度より施設内の清掃をすることが決定
○10月から新たに重度障害者支援体制加算を算定し、利用者支援の資質および収益向上を図った

事業種別	日中一時支援事業(嬉野・三雲・飯南・飯高)
事業所名	嬉野ゆうゆう、サン・ウイングスみくも、夢風船 飯高じゃんぷ
地域福祉活動計画の関連	Ⅲ-1(3)
経営計画との関連	3

【重点実施項目への取り組み・成果】
○就労Bが利用するため受給者証の更新されるまで、日中一時の利用ケースが2件あり受給者証発行後、就労Bの利用につながった。(飯高)
○年末年始については、緊急的な利用の要望もあり、受け入れ体制を整えた。(飯南)
○余暇活動として、ふくし祭りへの参加や外食・外出(花見、公園)など地域との交流ができた。(飯南)

〇メニューの見直しにより屋外スポーツや室内活動の充実を図り利用者の運動を促進した(三雲)

事業種別	介護サービス包括型共同生活援助事業(三雲・飯高)
事業所名	みくもホーム、はーとりあ飯高
地域福祉活動計画の関連	Ⅱ-2(1)
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額 (単位:円)

	三雲支所	飯高支所	収支計
収入	14,842,283	17,674,902	32,517,185
支出	15,963,123	17,540,513	33,503,636
差引	△1,120,840	134,389	△986,451

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇令和7年度4月より介護サービス包括型へ事業形態変更し、収益改善(飯高)
〇令和8年2月より介護サービス包括型へ事業形態を変更および定員7名から5名、勤務体制を宿直から夜勤に変更し、収益の改善に取り組んだ(三雲)
〇食費の値上げ・食事形態の変更実施(飯高)
〇地域連携推進会議による地域との関係構築およびサービスの透明性の確保に取り組んだ(三雲)
〇休日の日中一時支援事業利用による余暇活動の充実および人件費の削減に取り組んだ(三雲)
〇法令遵守の取り組みとして委員会の開催(感染症・虐待防止・身体拘束廃止適正化検討)、研修の受講(感染症・虐待防止・身体拘束廃止適正化検討)(三雲、飯高)
〇虐待防止アンケートおよび利用者満足度調査結果に基づき、改善(三雲、飯高)
〇要配慮者利用施設における避難訓練の実施(三雲)
〇福祉避難所開設・運営マニュアル作成に取り組んだ(三雲)

事業種別	特定相談支援事業・障がい児相談支援事業(松阪)
事業所名	福らむ
地域福祉活動計画の関連	Ⅰ-1(2)、Ⅲ-1(1)
経営計画との関連	3

◆事業活動収支決算額 (単位:円)

	松阪支所
収入	15,685,140
支出	11,055,586
差引	4,629,554

【重点実施項目への取り組み・成果】

〇法令遵守の取り組みとして委員会の開催(感染症・虐待防止・身体拘束廃止適正化検討)および、研修の受講(感染症・虐待防止・身体拘束廃止適正化検討)
〇困難事例について関係事業所及び松阪市と情報を共有し、連携強化を図った。
〇新たな加算として、主任相談支援専門員加算Ⅱを算定のために必要な、相談支援専門員現任者更新研修にファシリテーターとして参加した。

第5章 附属資料

1 法人経営部門

（1）理事会･評議員会･監事監査

〇令和6決算監査　（監事2名出席）

開催日時　令和7年5月28日(水）午前9時30分　開催場所　松阪支所大会議室

議題など
(1)令和6年度事業報告について （2)令和6年度収支決算について

〇第1回理事会　（理事9名、監事2名出席）

開催日時　令和7年6月6日(金）午前9時30分　開催場所　松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和6年度事業報告について	承認
議案第2号	令和6年度収支決算について	承認
議案第3号	次期評議員選任候補者の推薦について	承認
議案第4号	次期役員選任候補者の推薦について	承認
議案第5号	評議員選任･解任委員の選任について	承認
議案第6号	職員給与規程の一部改正について	承認
議案第7号	契約職員就業規則の一部改正について	承認
議案第8号	非常勤職員就業規則の一部改正について	承認
議案第9号	登録ヘルパーの雇用に関する就業規則の一部改正について	承認
議案第10号	経理規程の一部改正について	承認
議案第11号	令和7年度第1回評議員選任･解任委員会の開催について	承認
議案第12号	令和7年度定時評議員会の開催について	承認
報告事項①	会長及び常務理事の職務執行状況報告について	-
報告事項②	令和7年度第2回理事会招集手続きの省略について	-

〇定時評議員会（評議員10名、理事2名、監事2名出席）

開催日時 令和7年6月23日(月）午前10時30分　開催場所　松阪足所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和6年度事業報告の承認について	承認
議案第2号	令和6年度収支決算の承認について	承認
議案第3号	理事の選任について	承認
議案第4号	理事の選任について	承認
議案第5号	理事の選任について	承認
議案第6号	理事の選任について	承認
議案第7号	理事の選任について	承認
議案第8号	理事の選任について	承認
議案第9号	理事の選任について	承認
議案第10号	理事の選任について	承認
議案第11号	理事の選任について	承認
議案第12号	監事の選任について	承認
議案第13号	監事の選任について	承認

○第2回理事会（理事9名、監事2名出席）
開催日時　令和7年6月23日(月)　午後1時30分　開催場所　松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	会長、副会長及び常務理事の選定について	承認

○第3回理事会　※決議の省略
承認日　令和7年9月9日(火)

議題など		審議結果
議案第1号	第三者委員の選任について	承認

○令和7随時監査（監事2名出席）
開催日時　令和7年11月19日(水)　午前9時30分　開催場所　本所1階中会議室

議題など
(1)令和7年度中間事業報告について　(2)令和7年度中間収支決算について

○第4回理事会　（理事8名、監事2名出席）
開催日時　令和7年11月27日(木)　午前9時30分　開催場所　松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和7年度中間事業報告について	承認
議案第2号	令和7年度中間収支決算について	承認
議案第3号	令和7年度第1次補正予算について	承認
議案第4号	定款施行細則の一部改正について	承認
議案第5号	役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について	承認
議案第6号	職員就業規則の一部改正について	承認
議案第7号	職員給与規程の一部改正について	承認
議案第8号	契約職員就業規則の一部改正について	承認
議案第9号	非常勤職員就業規則の一部改正について	承認
議案第10号	登録ヘルパーの雇用等に関する就業規則の一部改正について	承認
議案第11号	職員旅費規程の一部改正について	承認
議案第12号	外部サービス利用型共同生活援助事業運営規程(みくもホーム)の廃止について	承認
議案第13号	介護サービス包括型共同生活援助事業運営規程(みくもホーム)の新設について	承認
議案第14号	介護サービス包括型共同生活援助事業運営規程(はーとりあ飯高)の一部改正について	承認
議案第15号	第2回評議員会の開催について	承認
報告事項①	第4期松阪市地域福祉計画・松阪市地域福祉活動計画の中間評価について	-

○第2回評議員会（評議員14名、理事2名、監事2名出席）
開催日時令和7年12月11日(木)　午前10時00分　開催場所　松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和7年度中間事業報告の承認について	承認

議案第2号	令和7年度中間収支決算の承認について	承認
議案第3号	令和7年度第1次補正予算の承認について	承認
議案第4号	役員等の報酬及び費用弁償に関する規程の一部改正について	承認
報告事項①	第4期松阪市地域福祉計画・松阪市地域福祉活動計画の中間評価について	-

〇第5回理事会　※決議の省略
承認日　令和8年1月13日(火)

議題など		審議結果
議案第1号	居宅介護支援事業運営規程(松阪社協嬉野支所居宅介護支援事業所)の一部改正について	承認
議案第2号	居宅介護支援事業運営規程(松阪社協松阪支所居宅介護支援事業所)の一部改正について	承認
議案第3号	居宅介護支援事業運営規程(松阪社協飯高支所居宅介護支援事業所)の一部改正について	承認
議案第4号	介護予防支援運営規程(松阪社協嬉野支所居宅介護支援事業所)の一部改正について	承認
議案第5号	介護予防支援運営規程(松阪社協松阪支所居宅介護支援事業所)の一部改正について	承認
議案第6号	介護予防支援運営規程(松阪社協飯高支所居宅介護支援事業所)の一部改正について	承認
議案第7号	介護予防支援運営規程(松阪市第二地域包括支援センター)の一部改正について	承認
議案第8号	介護予防支援運営規程(松阪市第三地域包括支援センター)の一部改正について	承認
議案第9号	訪問介護及び第1号訪問事業(訪問介護相当サービス)運営規程(松阪社協松阪支所訪問介護事業所)の一部改正について	承認
議案第10号	訪問介護及び第1号訪問事業(訪問介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所訪問介護事業所)の一部改正について	承認
議案第11号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協嬉野支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第12号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協三雲支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第13号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯南支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第14号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第15号	第1号通所事業(指定による通所型サービスA)運営規程(福っきー体操くらぶまつさか)の一部改正について	承認

議案第16号	就労継続支援B型事業運営規程(就労継続支援B型事業所えみわーく)の一部改正について	承認
議案第17号	就労継続支援B型事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について	承認
議案第18号	就労継続支援B型事業運営規程(飯高じゃんぷ)の一部改正について	承認
議案第19号	生活介護事業運営規程(松阪市社会福祉協議会嬉野支所生活介護事業所)の一部改正について	承認
議案第20号	生活介護事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について	承認
議案第21号	多機能型事業運営規程(障害者多機能型事業所夢風船)の一部改正について	承認
議案第22号	居宅介護運営規程(松阪社協松阪支所居宅介護事業所)の一部改正について	承認
議案第23号	居宅介護運営規程(松阪社協飯高支所居宅介護事業所)の一部改正について	承認
議案第24号	同行援護運営規程(松阪社協松阪支所居宅介護事業所)の一部改正について	承認
議案第25号	日中一時支援事業運営規程(サン・ウイングスみくも)の一部改正について	承認
議案第26号	日中一時支援事業運営規程(嬉野ゆうゆう)の一部改正について	承認
議案第27号	日中一時支援事業運営規程(障がい者多機能型事業所夢風船)の一部改正について	承認
議案第28号	日中一時支援事業運営規程(飯高じゃんぷ)の一部改正について	承認
議案第29号	日中一時支援事業運営規程(松阪社協三雲支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第30号	介護サービス包括型共同生活援助事業運営規程(みくもホーム)の一部改正について	承認
議案第31号	介護サービス包括型共同生活援助事業運営規程(はーとりあ飯高)の一部改正について	承認
議案第32号	障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律及び児童福祉法に基づく障がい者相談支援センター福らむ運営規程(特定相談支援事業・障害児相談支援事業)の一部改正について	承認

○第6回理事会（理事8名、監事1名出席）

開催日時　令和8年2月27日(金)　午前9時30分　開催場所　松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和8年度事業計画について	承認
議案第2号	令和8年度収支予算について	承認
議案第3号	令和7年度第2次補正予算について	承認
議案第4号	職員給与規程の一部改正について	承認
議案第5号	契約職員就業規則の一部改正について	承認

議案第6号	非常勤職員就業規則の一部改正について	承認
議案第7号	経理規程の一部改正について	承認
議案第8号	車輌管理規程の一部改正について	承認
議案第9号	嬉野社会福祉センター運営規程の新設について	承認
議案第10号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協嬉野支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第11号	通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯南支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
議案第12号	会通所介護及び第1号通所事業(通所介護相当サービス)運営規程(松阪社協飯高支所通所介護事業所)の一部改正について	承認
報告事項①	会長及び常務理事職務執行状況報告について	-
報告事項②	第Ⅴ期経営計画の中間評価報告について	-
報告事項③	あり方検討委員会の中間報告について	-

〇第3回評議員会 (評議員14名、理事2名、監事2名出席)
開催日時 令和8年3月11日(水) 午前10時00分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	令和8年度事業計画の承認について	承認
議案第2号	令和8年度収支予算の承認について	承認
議案第3号	令和7年度第2次補正予算の承認について	承認
報告事項①	第Ⅴ期経営計画の中間評価報告について	-
報告事項②	あり方検討委員会の中間報告について	-

②評議員選任解任委員会 (評議員選任・解任委員5名、理事2名出席)
開催日時 令和7年6月23日(月) 午後3時00分 開催場所 松阪支所大会議室

議題など		審議結果
議案第1号	評議員の選任について	承認

(2) 施設の運営・管理
① 貸館利用状況

事業名		令和5年度	令和6年度	令和7年度
松阪支所	貸館件数(件)	202	503	571
	利用者数(名)	2,277	4,207	5,132
嬉野社会福祉センター	貸館件数(件)	1,454	1,554	1,460
	利用者数(名)	17,605	21,622	22,498
ハートフルみくも保健福祉センター	貸館件数(件)	588	598	648
	利用者数(名)	14,774	12,726	9,998
ハートフルみくもスポーツ文化センター	貸館件数(件)	3,815	4,020	3,938
	利用者数(名)	47,760	45,344	47,133
飯南ふれあいセンタ	貸館件数(件)	574	897	909

ー	利用者数(名)	7,570	12,703	11,257
多世代交流センターいいなん	貸館件数(件)	200	169	37
	利用者数(名)	1,284	1,118	1,783
飯高高齢者生活福祉センター	貸館件数(件)	136	141	104
	利用者数(名)	907	1303	1,076

② 施設入居の状況

事業名		令和5年度	令和6年度	令和7年度
飯高高齢者生活福祉センター	入居者数(名)	4	3	4
	延べ入居日数(日)	1,056	1,316	1,006

2 福祉のまちづくり部門

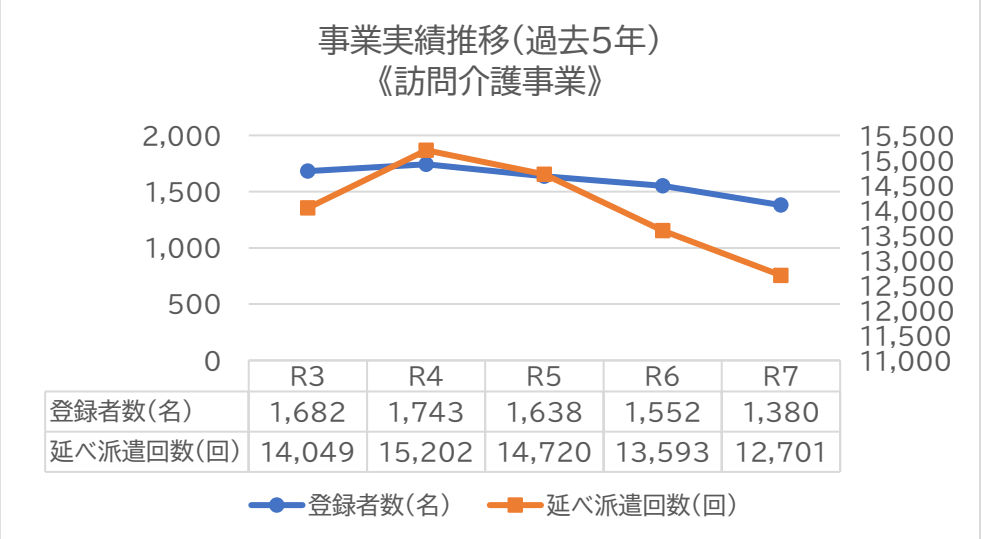
(1) ボランティア派遣実績

活動分野	種別	松阪		嬉野		三雲		飯南		飯高		計	
		依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣	依頼	派遣
		件	名	件	名	件	名	件	名	件	名	件	名
障がい者関係	団体支援	27	208									27	208
	施設支援	1	2									1	2
	個別支援	80	206									80	206
	行事支援	4	10	71	71	4	21	1	1			80	103
高齢者関係	食事サービス			23	123			15	165	9	9	47	297
	安否確認	12	72	24	134							36	206
	施設支援	12	38					2	2			14	40
	行事支援	33	122			8	18					41	140
	居場所づくり	104	254					171	1026			275	1280
	その他			48	48			19	163	22	63	89	274
児童関係	団体支援	9	45									9	45
	居場所づくり	169	503									169	503
	託児												
	行事支援	46	225			4	9	4	26			54	260
	見守り					440	2732					440	2,732

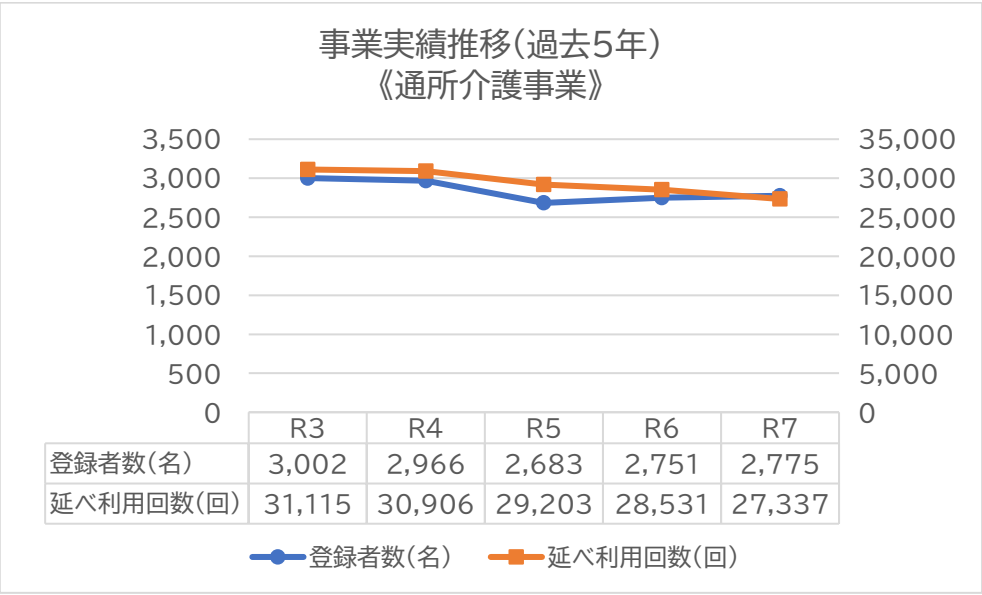
	活動												
	その他												
学校	福祉体験支援	22	53									22	53
	その他									2	10	2	10
施設他	環境整備	227	559									227	559
	その他												
その他	使用済み切手整理	16	124									16	124
	リサイクル活動	24	144									24	144
	地域支援	96	324			39	169	56	128	7	38	198	659
	啓発活動	23	136	2	2					1	6	26	144
	環境整備	44	192									44	192
合計		949	3,217	168	378	495	2,949	268	1,511	41	126	1,921	8,181

3　在宅福祉サービス部門

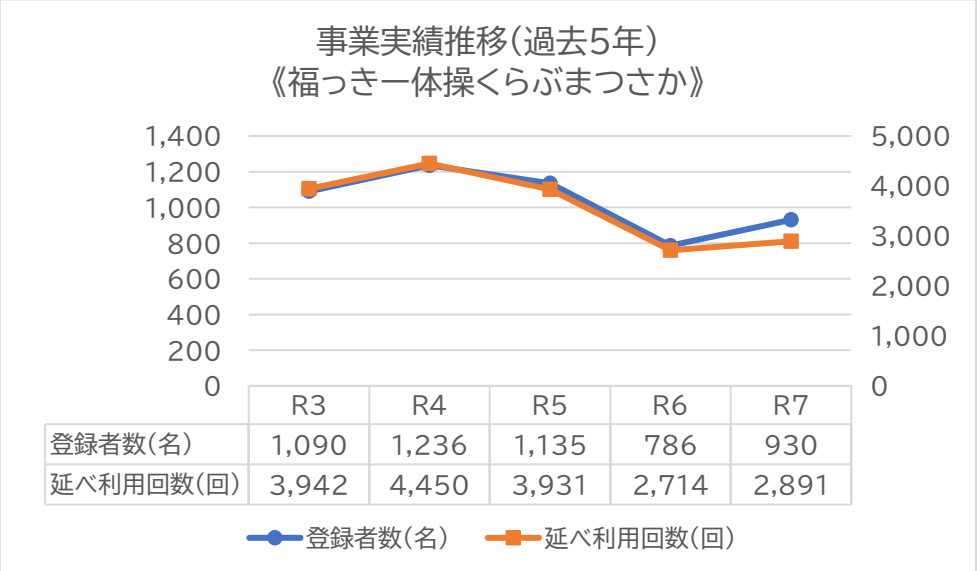
(1)高齢者福祉サービス事業実績推移



	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数(名)	1,682	1,743	1,638	1,552	1,380
延べ派遣回数(回)	14,049	15,202	14,720	13,593	12,701

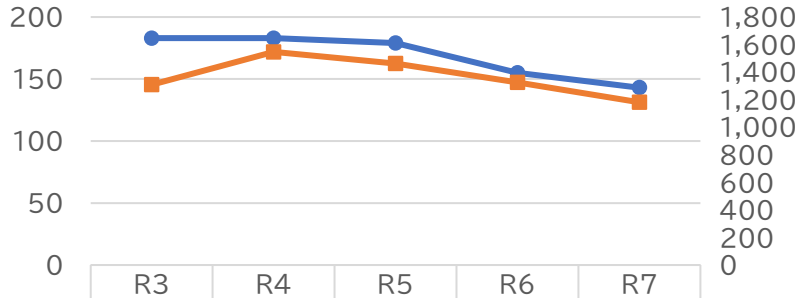


	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数(名)	3,002	2,966	2,683	2,751	2,775
延べ利用回数(回)	31,115	30,906	29,203	28,531	27,337



	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数(名)	1,090	1,236	1,135	786	930
延べ利用回数(回)	3,942	4,450	3,931	2,714	2,891

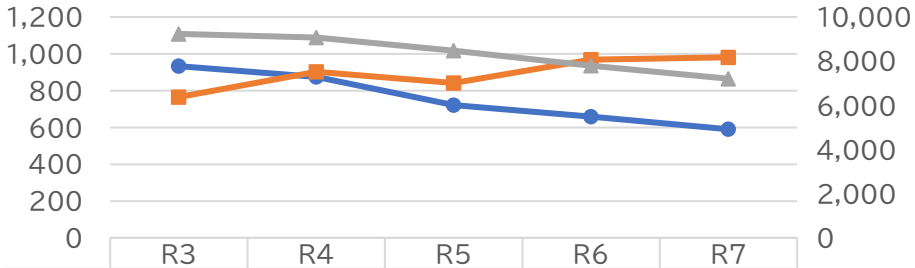
事業実績推移(過去5年)
《外出支援通所サービス運営事業》



	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数(名)	183	183	179	155	143
延べ利用回数(回)	1,310	1,547	1,463	1,326	1,181

登録者数(名)　延べ利用回数(回)

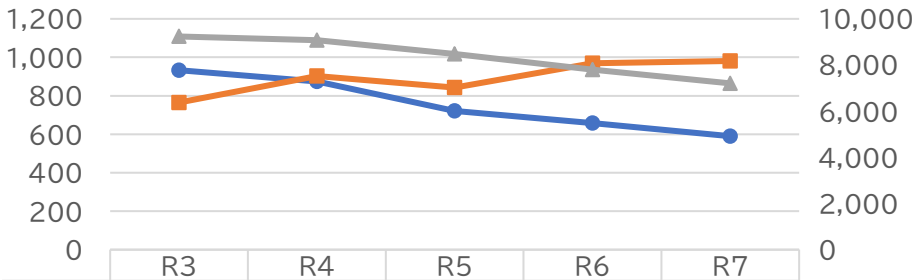
事業実績推移(過去5年)
《居宅介護支援事業》



	R3	R4	R5	R6	R7
総合事業	933	875	722	658	590
予防事業	765	902	842	969	981
介護事業	9,235	9,076	8,479	7,800	7,205

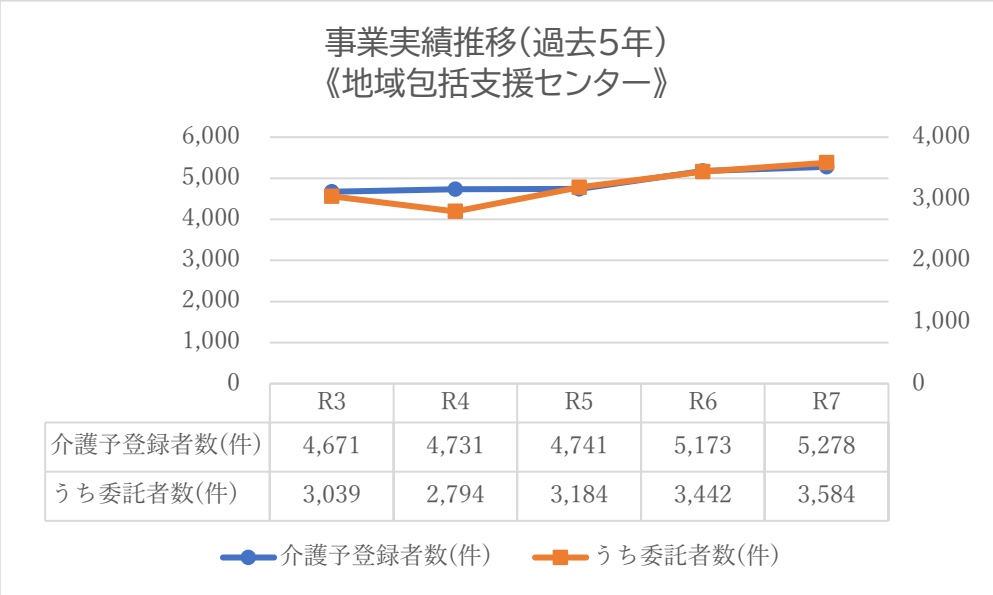
総合事業　予防事業　介護事業

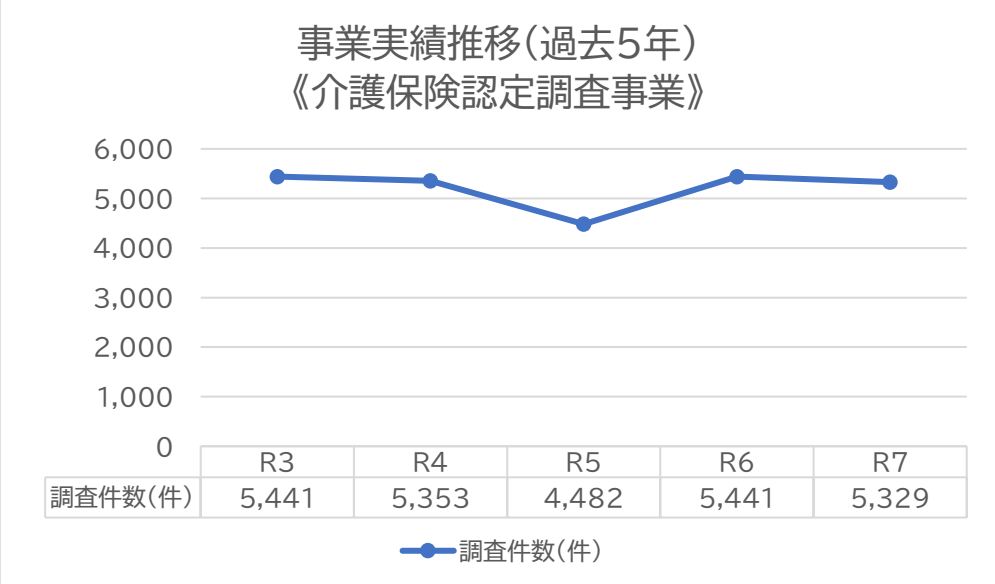
事業実績推移(過去5年)
《居宅介護支援事業》



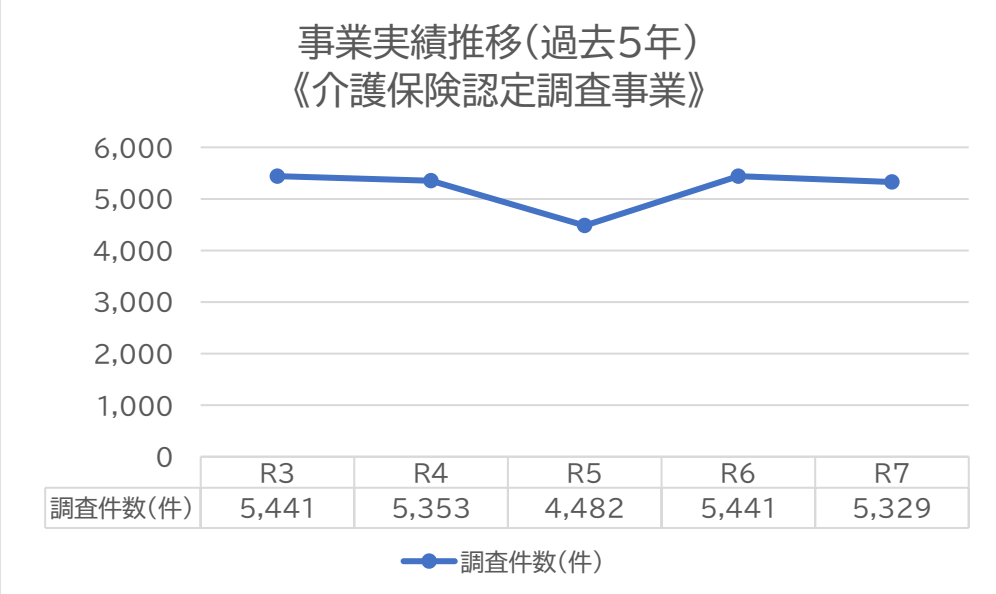
	R3	R4	R5	R6	R7
総合事業	933	875	722	658	590
予防事業	765	902	842	969	981
介護事業	9,235	9,076	8,479	7,800	7,205

総合事業　予防事業　介護事業

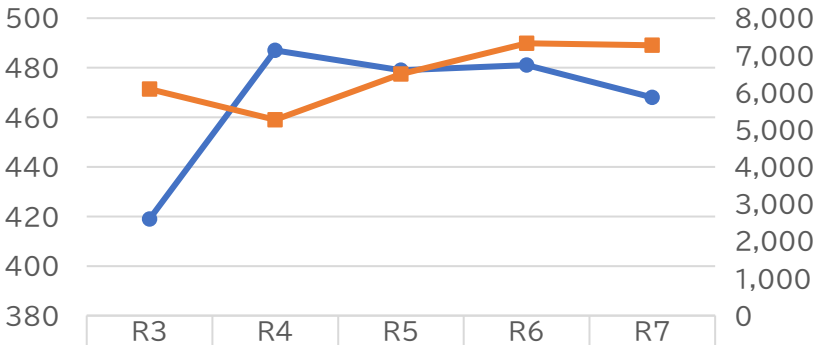




(2)障がい者福祉サービス事業実績推移



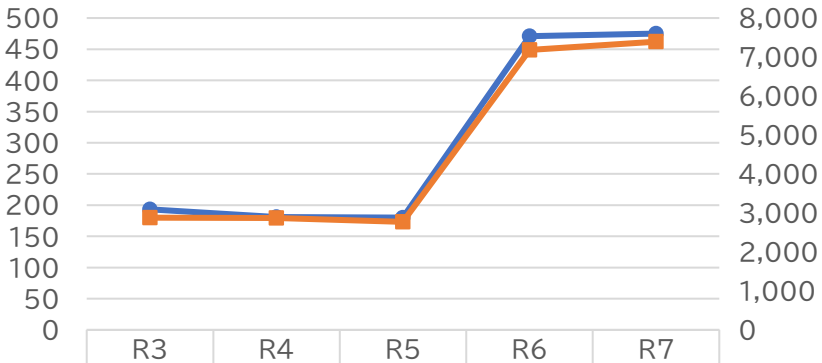
事業実績推移(過去5年)
《居宅介護事業》



	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数(名)	419	487	479	481	468
延べ派遣件数(件)	6,095	5,268	6,495	7,324	7,271

登録者数(名)　延べ派遣件数(件)

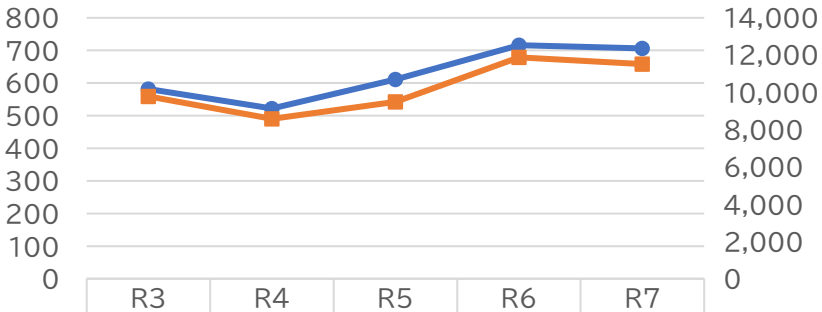
事業実績推移(過去5年)
《生活介護事業》



	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数(名)	193	181	180	471	475
延べ利用件数(件)	2,878	2,870	2,771	7,184	7,393

登録者数(名)　延べ利用件数(件)

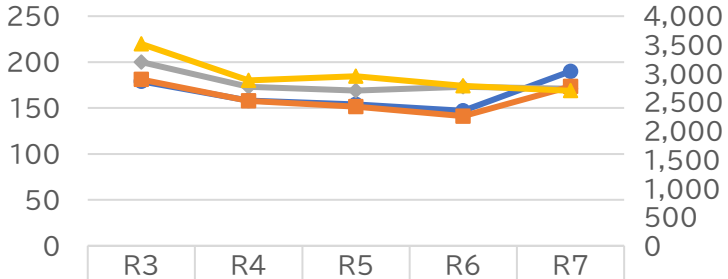
事業実績推移(過去5年)
《就労継続支援B型事業》



	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数(名)	582	522	611	716	706
延べ利用件数(件)	9,790	8,579	9,495	11,878	11,520

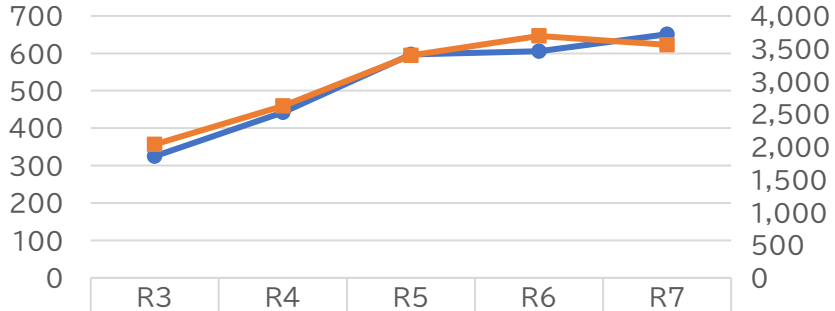
登録者数(名)　延べ利用件数(件)

事業実績推移(過去5年)
《多機能型事業》



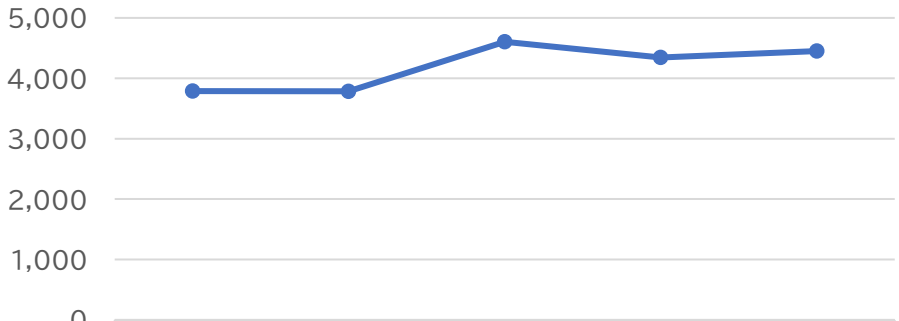
	R3	R4	R5	R6	R7
生活介護 登録者数(名)	179	158	154	147	190
就労B 登録者数(名)	200	173	169	173	171
生活介護 延べ利用件数(件)	2,896	2,527	2,426	2259	2778
就労B 延べ利用件数(件)	3,516	2,883	2,951	2789	2700

事業実績推移(過去5年)
《日中一時支援事業》

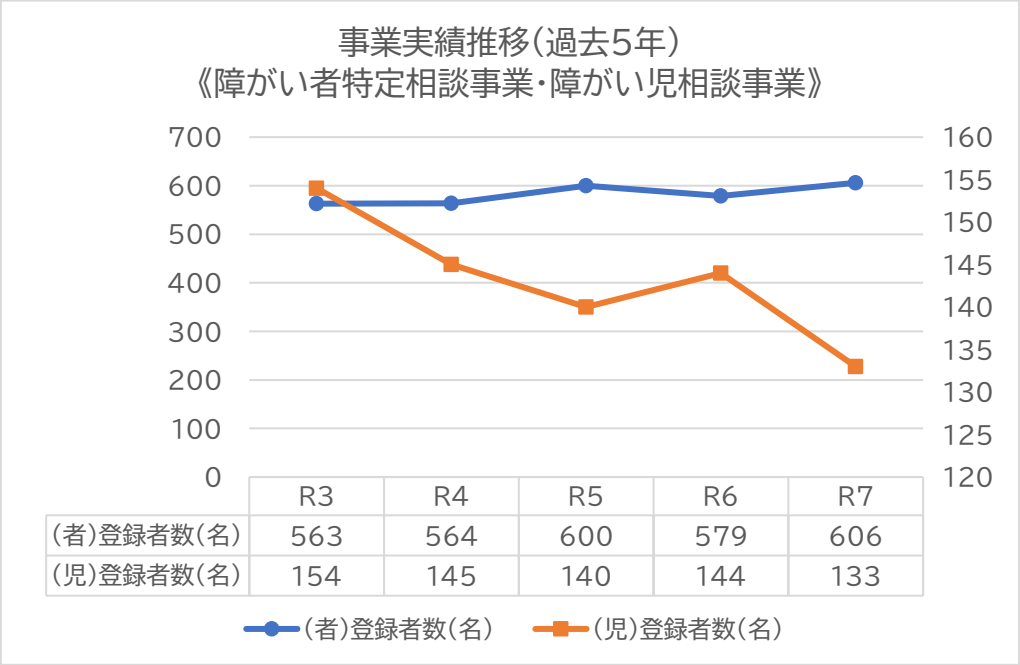


	R3	R4	R5	R6	R7
登録者数(名)	325	442	597	606	651
延べ利用件数(件)	2,038	2,625	3,395	3,694	3,557

事業実績推移(過去5年)
《共同生活援助事業》



	R3	R4	R5	R6	R7
入居者数(名)	3,788	3,785	4,604	4,345	4,451


事業実績推移(過去5年)
《障がい者特定相談事業・障がい児相談事業》
700
600
500
400
300
200
100
0
160
155
150
145
140
135
130
125
120
R3
R4
R5
R6
R7
(者)登録者数(名)
563
564
600
579
606
(児)登録者数(名)
154
145
140
144
133
(者)登録者数(名)
(児)登録者数(名)